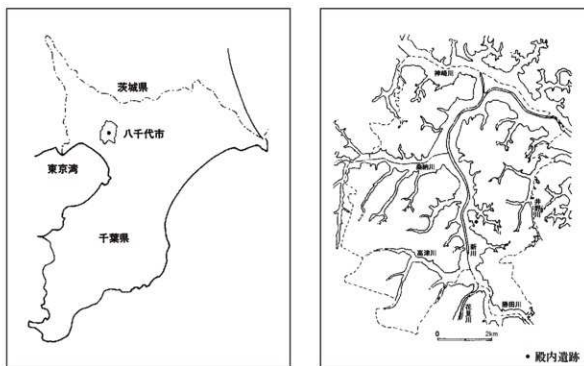


千葉県八千代市

## 公共事業関連遺跡発掘調査報告書Ⅸ

### 殿内遺跡 j 地点



2023.3 (令和4年度)

八千代市教育委員会



## 凡 例

- 1 本書は、八千代市教育委員会が、令和2年度に市の公共事業に先行して実施した殿内遺跡j地点埋蔵文化財発掘調査事業の報告書である。本整理及び報告書作成作業は、令和4年度事業として実施した。
- 2 発掘調査は、確認調査を国庫・県費補助事業として、本調査については、公共事業関連発掘調査事業として市単独で実施した。
- 3 発掘調査・本整理作業は以下のとおりである。

### 調査

確認調査 期間 令和2年11月16日～11月25日 面積 204㎡/2049.9㎡ 担当 宮下 聡史

本調査 期間 令和3年3月8日～3月31日 面積 594㎡ 担当 森 竜哉

調査補助員 板橋三郎・伊藤衣莉加・内田紀子・桐原誠・窪坂雄志・小弓場直子・鈴木一代  
萩原雄一・橋本喜正・長谷川恵理子・原田雪子・室中勝典・山本みつ江・田中直子  
藤田千博・柴田清加・品川信昭・石附民夫・平石雅士・高木秀夫・平原祐子

文化財整理員 山田俊二

### 整理

図版作成・執筆 期間 令和4年12月1日～令和5年3月1日 担当 森 竜哉

整理補助員 柴田清加・長谷川恵理子

文化財整理員 岩崎千代子・宇都洋子・杵島由希

- 4 本書の編集・執筆は、森がおこなった。
- 5 現場の遺構、遺物及び報告書掲載の遺物写真は森が撮影した。
- 6 本書の作成・刊行については、整理補助員、文化財整理員と森が協力して行い、森が統括した。
- 7 出土遺物、実測図等の資料は、八千代市教育委員会が保管している。
- 8 本書の遺構番号は、発掘調査時の番号を使用している。
- 9 遺構・遺物の縮尺は、下記のとおり統一しているが、位置図・全体図等は別記した。  
〔遺構〕ピット 1/30、堅穴建物跡・遺構土層断面図は 1/80、掘立柱建物跡 1/80、カマド 1/40 とした。  
〔遺物〕土器・土製品等全て 1/3 とした。
- 10 遺物実測図の中軸線サイドの空きは、復元実測を示す。
- 11 遺構遺物のスクリーントーンは、状況に応じて説明を加えた。
- 12 本書使用の地形図等は下記のとおりでである。  
第1図 調査地点位置図 八千代市発行 1/2,500 八千代都市計画基本図
- 13 発掘調査から整理作業において下記の諸氏・機関にご指導、ご協力いただきました。記して感謝いたします。(敬称略) 菊池 健一 千葉県教育庁文化財課

# 本文目次

## 凡 例

### 第1章 序説

|              |   |
|--------------|---|
| 第1節 調査に至る経緯  | 1 |
| 第2節 調査の方法と経過 | 1 |

### 第2章 検出された遺構と遺物

|             |    |
|-------------|----|
| 第1節 古墳時代    | 4  |
| 第2節 奈良・平安時代 | 6  |
| 第3節 ビット     | 10 |
| 第4節 掘立柱建物跡  | 13 |

### 第3章 まとめ

|             |    |
|-------------|----|
| 第1節 古墳時代    | 14 |
| 第2節 奈良・平安時代 | 14 |

### 参考文献

# 挿 図 目 次

|                         |    |                         |    |
|-------------------------|----|-------------------------|----|
| 第1図 殿内遺跡調査地点            | 2  | 第15図 04D 出土遺物 (2)       | 25 |
| 第2図 殿内遺跡j地点遺構配置図        | 3  | 第16図 05D 遺構実測図・出土遺物 (1) | 25 |
| 第3図 01 遺物集中地点遺構図・出土遺物   | 15 | 第17図 05D 出土遺物 (2)       | 26 |
| 第4図 01D 遺構実測図・出土遺物 (1)  | 16 | 第18図 07D 遺構実測図          | 26 |
| 第5図 01D 出土遺物 (2)        | 17 | 第19図 07D 出土遺物 (1)       | 27 |
| 第6図 08D 遺構実測図           | 17 | 第20図 07D 出土遺物 (2)       | 28 |
| 第7図 08D 出土遺物 (1)        | 18 | 第21図 09D 遺構実測図・出土遺物 (1) | 28 |
| 第8図 08D 出土遺物 (2)        | 19 | 第22図 09D 出土遺物 (2)       | 29 |
| 第9図 08D 出土遺物 (3)        | 20 | 第23図 ビット遺構実測図 (1)       |    |
| 第10図 02D 遺構実測図・出土遺物 (1) | 20 | ・02P 出土遺物               | 29 |
| 第11図 02D 出土遺物 (2)       |    | 第24図 ビット遺構実測図 (2)       | 30 |
| ・03D 遺構実測図              | 21 | 第25図 01H 遺構実測図 (1)      | 31 |
| 第12図 03D 出土遺物 (1)       | 22 | 第26図 01H 遺構実測図 (2)・出土遺物 |    |
| 第13図 03D 出土遺物 (2)       | 23 | ・02H 遺構実測図              | 32 |
| 第14図 04D 遺構実測図・出土遺物 (1) | 24 | 第27図 確認面出土遺物            | 33 |

### 報告書抄録

# 写真図版目次

|  |
|--|
| 図版1 遺構 [表土剥ぎ・01D・02D・04D]                      |
| 図版2 遺構 [04D]                                   |
| 図版3 遺構 [05D・07D・08D・01P]                       |
| 図版4 遺構 [02P・03P・05P・06P・09P～15P・01H・02H・調査区全景] |
| 図版5 遺物 [01D・02D・03D・04D]                       |
| 図版6 遺物 [05D・07D・08D(1)]                        |
| 図版7 遺物 [08D(2)・01 遺物集中地点・09D・01H・確認面]          |

# 第1章 序 説

八千代市は、首都圏のベッドタウンとして開発が進み、平成8年4月の東葉高速鉄道の開業以来、さらにその傾向を強め、沿線を中心とした新しいまちづくりが進められている。こうした状況の中、八千代市は「快適な生活環境とやすらぎに満ちた都市 八千代」を実現するために、第5次総合計画を策定し、「人がつながり 未来につなぐ 緑豊かな 笑顔あふれるまち やちよ」を目指して、諸事業を実施しているところである。それら市の事業で土木工事を伴う場合について、八千代市教育委員会（以下「市教委」という。）では、毎年予算策定期間に市役所各課の次年度の公共事業計画を照会することによって把握し、その内容を吟味し、調査案件については予算措置をしている。

発掘調査に至る事前手続きは、千葉県教育委員会の指導のもと「埋蔵文化財の取扱いについて（協議）」（以下「協議依頼」という。）の提出を求め、「公共事業関連埋蔵文化財調査事業」として発掘調査を実施している。以下、本書に掲載した殿内遺跡j地点について述べていく。

## 第1節 調査に至る経緯

令和2年10月、八千代市長（資産管理課）所管の土地賃貸借にあたり、大和リース株式会社千葉支店 支店長 柏 昌明（以下事業者という）から、店舗建設を予定する旨で「確認依頼」が市教育委員会に提出された。確認地は、市道跡№204 殿内遺跡の範囲内であり、過去に周辺の調査で遺構・遺物が確認されていることから、文化財保護法第93条の届出が必要な旨回答した。同月届出が提出されたが、現地は市営団地跡地であり、表土下の状況を把握するために対象面積の1%程度を掘り下げ試掘した結果、遺構の発見と共に土層堆積も良好に遺存していたことが判明した。11月5日県教育委員会宛て93条において「発掘調査とされたい」旨で進達し、県教育委員会からの「発掘調査を実施してください」旨の通知を受けて、市・市教委・事業者による協議の結果、確認調査を実施することとなり、同年11月16日確認調査に着手した。

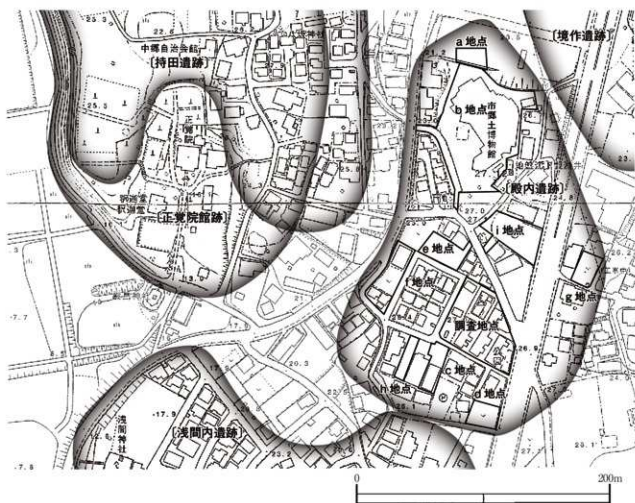
確認調査の結果、対象面積2,049.9m<sup>2</sup>の内、遺構有り範囲とした1,690m<sup>2</sup>について協議することとなった。駐車場となる部分は保護層を確保できることから調査除外とし、基礎工事を伴う建物部分の444m<sup>2</sup>について本調査を実施予定とした。この際の費用負担については、貸主である八千代市長が負担となった。また本調査継続中、基礎工事内容に変更があり、150m<sup>2</sup>について追加調査を実施した。

## 第2節 調査の方法と経過

**【確認調査】** 令和2年度市内遺跡発掘調査事業として実施した。概要は、「千葉県八千代市市内遺跡等発掘調査報告書 令和3年度」に掲載済みであるが、結果として古墳時代堅穴建物跡3棟、奈良平安時代堅穴建物跡11棟、土坑4基等を発見した。

**【本調査】** 令和2年度公共事業関連遺跡発掘調査事業として実施した。前述したように、追加部分を含めた建物基礎部分の594m<sup>2</sup>を対象とし、結果として古墳時代後期堅穴建物跡2棟、奈良平安時代堅穴建物跡6棟・ピット18基・掘立柱建物跡2棟を検出した。

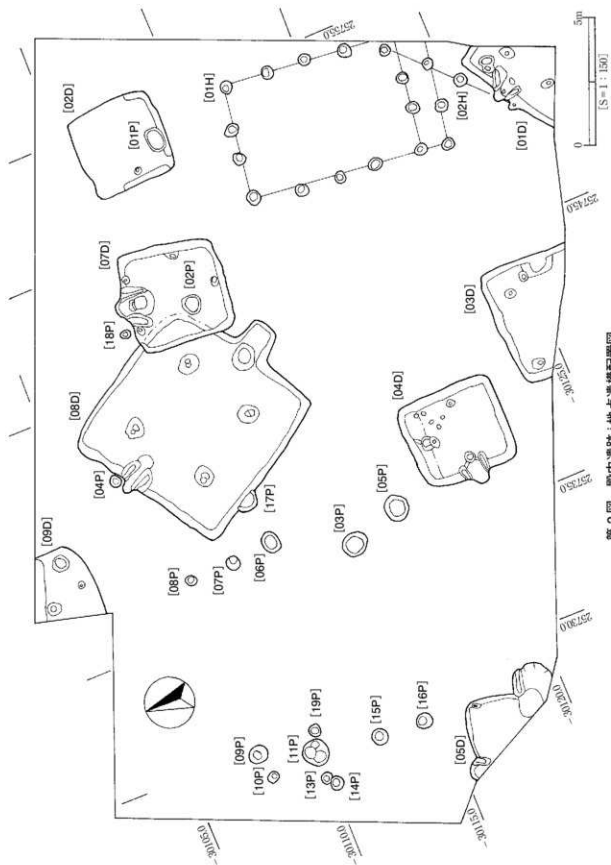
調査期間は令和3年3月8日～同月31日で、8日～18日重機表土掘りと並行して15日から人員投入によりプラン確認・遺構確定で、16日01D～05D、01P～05P掘り下げ、17日～19日遺物出土状況記録・取り上げ、19日01H.07D～09D掘り下げ及び他遺構カマド調査等で31日に遺構全景を撮影し、調査を完了した。なお、確認面はソフトローム上位層が部分的に残存していたが、概ねソフトローム上面で遺構確認とし、光波測量機器により平面と高さを記録しながら、遺物の取り上げと平面図作成を行った。



第1図 殿内遺跡調査地点

殿内遺跡各地点の概要

| 地点 | 調査面積 (㎡)    | 遺 構  | 遺 物  | 調査期間   | 備 考         |
|----|-------------|--|--|--|-------------|
| a  | 800         | 奈良時代型穴建物1棟   | 奈良時代須恵器環・土師器甕  | 560年11月13日～561年1月13日<br>[境作遺跡調査含む]                           | 市遺跡調査会・本調査  |
| b  | 5,300       | 弥生時代方形周溝1基、古墳時代前期型穴建物1棟、奈良平安時代型穴建物36棟・圓柱建物1棟・ピット40基、近世垂坑3基 | 弥生形土師器、縄文時代早期、中期土器・石皿・土器片類、古墳時代前期土師器、奈良平安時代土師器・須恵器、室内土師器・緑釉陶器・真鍮品、青銅製帯金具、近世雜貨・銭貨 | H2年10月22日～H3年7月11日<br>[第1次本調査]<br>H4年6月19日～9月10日<br>[第2次本調査] | 市教育委員会・本調査  |
| c  | 64.3/499.95 | 奈良平安時代型穴建物7棟・圓立柱建物2棟・土坑9基                                  | 奈良平安時代土師器・須恵器、近世陶磁器、寛永通宝   | H17年11月17日   | 市教育委員会・確認調査 |
| d  | 48/456      | 古墳時代型穴建物1棟、奈良平安時代型穴建物1棟・土坑2基                               | 古墳時代土師器、奈良平安時代土師器・須恵器  | H26年7月4日～7月10日   | 市教育委員会・確認調査 |
| e  | 706.57      | 奈良平安時代型穴建物10棟・ピット8基、近世溝5基・ピット2基                            | 旧石器時代剥片、縄文土器中後期、奈良平安時代土師器・須恵器  | H29年2月20日～7月7日   | 市教育委員会・本調査  |
| f  | 246         | 奈良平安時代型穴建物5棟・ピット4基   | 縄文土器中後期、奈良平安時代土師器・須恵器  | H29年7月13日～8月23日  | 市教育委員会・本調査  |
| g  | 50/420.04   | 古墳時代型穴建物1棟・土坑1基、奈良平安時代型穴建物4棟・溝跡1条・土坑7基                     | 弥生土器、古墳時代土師器、奈良平安時代土師器・須恵器   | H29年10月10日～10月18日  | 市教育委員会・確認調査 |
| h  | 26/258      | 奈良平安時代型穴建物2棟・土坑2基  | 奈良平安時代土師器・須恵器  | R2年3月3日～5月6日   | 市教育委員会・確認調査 |
| i  | 112/1213.35 | なし   | なし   | R2年6月2日～6月9日   | 市教育委員会・確認調査 |



第2図 殿内遺跡・地点遺構配置図

## 第2章 検出された遺構と遺物

### 第1節 古墳時代

今回の野外調査で、前期前葉の遺物集中地点1カ所と後期（6世紀後半～7世紀前半）の竪穴建物跡2棟を検出した。以下に報告する。

#### 01 遺物集中地点（第3図・図版7）

07D.08D 掘り下げ時に、明らかに時代の異なる遺物が混入していた。07D は平安時代竪穴建物跡で、08D は古墳時代後期の竪穴建物跡であることから、2遺構に壊された結果、埋積土に遺物が混入したものと考えられる。炉、壁面等片鱗がないか精査したが、確認できなかった。

#### 01 遺物集中地点遺物観察表（第3図）15<sup>ア</sup>

| 図 種 | 部 位         | 計 測 量 (cm) |       |            | 色 調 | 粘 土         | 調整・文様等        |  |
|-----|-------------|------------|-------|------------|-----|-------------|---------------|--|
|     |             | 器 高        | 口 径   | 底 径        |     |             |               |  |
| 1   | 土師器<br>腹合線壺 | 口縁部片       | -     | -          | -   | 内外淡褐色       | 雲母、白色粘        | 外縁縁刻状文、内磨き、赤彩。                                     |
| 2   | 土師器<br>壺    | 胴部片        | -     | -          | -   | 内外に深い黄褐色    | 雲母、白色粘        | 外縁縁刻状文。下部にS字状結節文。<br>三角波線内に赤彩。内ナデ。                 |
| 3   | 土師器<br>瓦葺   | 口縁部片       | -     | -          | -   | 外地文明黄褐色     | 白色粘、雲母        | 外縁部 L.R 彫文 + S 字状結節文3段。下段は赤彩。<br>内磨き、赤彩。           |
| 4   | 土師器<br>台付壺  | 口縁部1/4     | 90    | 18.4       | -   | 外褐色<br>内赤褐色 | 雲母、白色粘        | 口縁部磨み目、口縁部外縁刻ハケ目、内縁刻ハケ目。<br>磨き。胴部外縁刻ハケ目、内ナデ及びヘラ磨き。 |
| 5   | 土師器<br>台付壺  | 口縁部片       | -     | -          | -   | 内外明褐色       | 雲母、白色粘        | 口縁部磨み目による磨み。<br>内外ハケ目。                             |
| 6   | 土師器<br>台付壺  | 口縁部片       | -     | -          | -   | 内外暗褐色       | 雲母、白色粘        | 口縁部磨み目、古墳時代前期。                                     |
| 7   | 土師器<br>台付壺  | 胴部片        | (L.S) | 胴部幅<br>6.1 | -   | 内外赤褐色       | 白色粘、雲母、<br>砂鉄 | 胴部外縁刻ハケ目 (7cm)、<br>内縁刻ハケ目。                         |
| 8   | 土師器<br>高杯   | 胴部底部       | -     | -          | -   | 内外淡褐色       | 白色粘、雲母        | 内外ハケ目。   |

#### 01D（第4.5図・図版15）

位置：調査区北西隅。確認面：Ⅱc層中。主軸方位：N-56°-W で西に振れている。重複関係：02H に切られる。規模・平面形：4.5m 以上×0.7m 以上×深さ1.2m の方形が 壁・周溝からほぼ垂直に立ち上がる。床面：ハードルームを40cm程度掘り込み地床とする。周溝：全周し、カマド袖脇で立ち上がる。幅22～24cmで深さ5～10cm。覆土はローム粒混じりの暗褐色土でやや軟質。カマド：北壁側に壁を掘り込んで作られる。焚口部はほぼ平坦で、袖部先手前に火床部があり、強く焼けている。煙道立ち上がりは角度をもって立ち上がっている。カマド袖部の構築は灰色粘土を壁側に貼付け、手前に暗褐色土混じりの灰色粘土を配している。ピット：カマド脇右コーナーに90×60cmの楕円形で深さ45cmの貯蔵用穴。調査区側に60cmの円形で深さ50cmの2カ所の柱穴を配す。覆土：8層に分層。おおむね黒褐色土、暗褐色土の自然埋没層である。遺物出土状態：カマド前面、貯蔵用穴から出土が多い。袖横から、支脚が立て掛けられて出土している。

#### 01D 遺物観察表（第4・5図）16.17<sup>ア</sup>

| 図 種 | 部 位       | 計 測 量 (cm)       |        |            | 色 調         | 粘 土              | 調整・文様等          |   |
|-----|-----------|------------------|--------|------------|-------------|------------------|-----------------|---|
|     |           | 器 高              | 口 径    | 底 径        |             |                  |                 |   |
| 1   | 土師器<br>環  | 口縁～体部4/5         | 4.5    | 13.8       | -           | 内外淡褐色            | 雲母、白色粘<br>赤色粘   | 口縁部内外縁ナデ。体部外縁刻ハケ目。<br>内ナデ、ヘラナデ。             |
| 2   | 土師器<br>環  | 口縁部1/4           | -      | -          | -           | 内外黒褐色            | 白色粘、雲母          | 口縁部内外縁ナデ。体部外縁刻ハケ目。<br>内外灰色磨き。               |
| 3   | 土師器<br>鉢  | 口縁～底面2/3         | 8.5    | 19.7       | -           | 外暗褐色<br>内赤褐色     | 白色粘、雲母、<br>砂鉄   | 口縁部内外縁ナデ。体部外縁刻ハケ目。内ナデか。<br>内面全体に焼熱による滑磨きあり。 |
| 4   | 土師器<br>鉢  | 体部～底面全周<br>口縁1/5 | 9.0    | 17.0       | -           | 外赤褐色～淡褐色<br>内赤褐色 | 白色粘、雲母、<br>砂鉄   | 口縁部内外縁ナデ。体部外縁刻ハケ目。<br>内ナデ。内面黒色磨き。           |
| 5   | 土師器<br>壺  | 口縁部1/3           | (5.4)  | 18.0       | -           | 外暗褐色～暗褐色<br>内赤褐色 | 白色粘、雲母          | 口縁部内外縁ナデ。<br>胴部外縁刻ハケ目。内ナデ。                  |
| 6   | 土師器<br>壺  | 体部～胴部全周          | (22.1) | -          | 8.0         | 外暗褐色～暗褐色<br>内赤褐色 | 白色粘、雲母、<br>赤色粘  | 胴部外縁刻ハケ目。内縁刻ハケ目。                            |
| 7   | 土師器<br>壺  | 底面全周             | (5.2)  | -          | 7.6         | 外淡褐色<br>内淡褐色     | 白色粘、雲母、<br>砂鉄   | 胴部外縁刻ハケ目。内ナデ。                               |
| 8   | 土製品<br>支脚 | 定形               | 17.4   | 上部幅<br>4.0 | 基底部幅<br>7.8 | 厚さ<br>5.0cm      | 雲母多含。<br>白色粘、砂鉄 | 重さ670.3g。ナデ磨製。                              |



## 08D (第6-9図・図版3.6.7)

位置：調査区中央北側。確認面：Ⅱc層中。主軸方位：N-50°-Wで西に振れている。重複関係：07Dに切られる。規模・平面形：6.6m×6.7m×深さ0.48mの方形。カマド対面にコの字状の張り出しをもつ。長辺1.4m×短辺1.1m。壁：周溝からは垂直に立ち上がる。床面：ハードローンを35cm掘り込み地床とする。硬化面は特に踏みしめられた範囲は見られない。周溝：全周し、カマド袖脇で立ち上がる。幅20cmで深さ5～10cm。覆土はローン粒混じりの暗褐色土でやや軟質。カマド：北壁中央に壁を掘り込んで作られる。焚口部は平坦に近い浅い掘り込みで、煙道立ち上がり手前に火床部があり、強く焼けている。煙道は角度をもって立ち上がっている。袖部の構築はハードローンを土台とし、灰色粘土を核として暗褐色土+灰色粘土により積み上げている。ピット：1～4が支柱穴で、5が副柱穴である。支柱穴は各2口見られるが、深さは若干の高さの違いである。1は0.39～0.42m、2は0.37～0.41m、3は0.32～0.42m、4は0.33～0.49mで壁側が深い。5は深さ0.59mで出入口ピットである。覆土：8層に分層。黒褐色土系の自然埋積層である。遺物出土状態：トータルステーションで232点出土している。床面に近い状態で出土が主体。

08D 遺物観察表(1) (第7・8・9図) 18.19.20"

※No.25は欠番

| 器種 | 部位          | 計測値(cm)          |           | 色調          | 胎土          | 調査・文様等                      |               |  |
|----|-------------|------------------|-----------|-------------|-------------|-----------------------------|---------------|--|
|    |             | 器高               | 口径        |             |             |                             |               |  |
| 1  | 土師器<br>環    | 2/3              | 5.2       | 12.0        | -           | 内外淡褐色色一部炭色                  | 白色粒、雲母        | Ⅰ層部横ナデ。外部外縁ヘラナデ。内ナデ。                                 |
| 2  | 土師器<br>環    | ほぼ定形             | 4.9       | 10.7        | -           | 外赤褐色色一部炭色、内暗茶褐色色            | 雲母、白色粒、砂粒     | Ⅰ層部横ナデ。外部外縁ヘラナデ。内縁位ヘラナデ。                             |
| 3  | 土師器<br>環    | ほぼ定形             | 4.8       | 12.6        | -           | 内外淡褐色色                      | 雲母、白色粒、砂粒     | Ⅰ層部が固定される。口縁内外横ナデ。外部外縁位へ斜位ヘラナデ。内ナデ。底部に平坦面あり。         |
| 4  | 土師器<br>環    | 口縁上縁<br>体部全周     | 4.2       | (14.0)      | -           | 外暗茶褐色色<br>内淡褐色色             | 雲母、白色粒、砂粒     | Ⅰ層部内外横ナデ。外部外縁位ヘラナデ。ヘラナデ。底部平坦面で体部あり。                  |
| 5  | 土師器<br>環    | ほぼ定形             | 3.7       | 14.2        | -           | 内外暗褐色色一部炭色                  | 雲母、白色粒、砂粒     | Ⅰ層部内外横ナデ。外部外縁位ヘラナデ。ヘラナデ。Ⅰ層部内縁ナデ。                     |
| 6  | 土師器<br>環    | ほぼ定形             | 4.7       | 13.6        | -           | 外淡褐色色一部炭色、内淡茶褐色色上平炭色        | 雲母、白色粒        | Ⅰ層部内縁ナデ。口縁部内外横ナデ。外部外縁位ヘラナデ。内ナデ。                      |
| 7  | 土師器<br>環    | 口縁部2/3欠損         | 4.5       | 12.5        | -           | 外赤褐色色<br>内暗褐色色              | 白色粒、雲母、砂粒     | 外口縁下縁位ヘラナデ。底部平直を認識し体部あり。内ナデ。ヘラナデ。口縁部欠損部分あり。          |
| 8  | 土師器<br>環    | ほぼ定形             | 4.4       | 12.2        | -           | 内外赤赤褐色色                     | 白色粒           | Ⅰ層部内外横ナデ。外部外縁位ヘラナデ。内縁位ヘラナデ。器内外内縁部。外面体部凹形に赤彩せず。       |
| 9  | 土師器<br>環    | 2/3              | 4.4       | 13.0        | -           | 内外淡褐色色<br>地に暗褐色色            | 雲母、白色粒        | Ⅰ層部に近い赤。Ⅰ層部内外及び内面回転ナデ。外部外縁位ヘラナデ。内外炭色表裏。              |
| 10 | 土師器<br>環    | ほぼ定形             | 5.3       | (14.0)      | -           | 外暗茶褐色色<br>内淡褐色色 茶褐色色        | 雲母、白色粒、砂粒     | Ⅰ層部内外横ナデ。外部外縁位ヘラナデ。内縁位ヘラナデ。内面炭色地。                    |
| 11 | 土師器<br>環    | 口縁部2/3欠          | 6.0       | 13.0        | -           | 内外暗茶褐色色                     | 雲母、白色粒、砂粒     | Ⅰ層部内外横ナデ。外部外縁位ヘラナデ。内ナデ。ヘラナデ。                         |
| 12 | 土師器<br>高杯   | 杯部1/2欠損          | 10.7      | 杯部径<br>12.0 | 杯部径<br>10.0 | 内外淡茶褐色色                     | 雲母、白色粒        | 杯部、脚部部部横ナデ。杯部内外縁位ヘラナデ。脚部外縁位及び斜位ヘラナデ。二次焼成により杯部破れ不具。   |
| 13 | 土師器<br>高杯   | ほぼ定形             | 16.3      | 杯部径<br>20.4 | 杯部径<br>15.2 | 外暗茶褐色色一部炭色、内暗茶褐色色<br>内赤一部炭色 | 雲母、白色粒、砂粒     | 杯部外縁ナデ。縁位ヘラナデ。内縁ナデ。ヘラナデ。脚部外縁位ヘラナデ。脚部横位ヘラナデ。内ナデ。ヘラナデ。 |
| 14 | 土師器<br>台付盃  | 体部下平全周<br>口縁部1/4 | (12.4)    | 16.8        | -           | 外赤褐色色一部炭色、内淡褐色色             | 白色粒、砂粒        | Ⅰ層部内外横ナデ。脚部外縁位へ斜位ヘラナデ。内縁位ヘラナデ。                       |
| 15 | 土師器<br>小型盃  | 定形               | 16.8      | 13.5        | 5.9         | 内外淡茶褐色色<br>外面一部炭色           | 雲母、白色粒、砂粒     | Ⅰ層部横ナデ。脚部外縁位ヘラナデ。内ナデ。                                |
| 16 | 土師器<br>小型盃  | ほぼ定形             | 13.6      | 15.2        | 4.6         | 内外淡褐色色<br>一部炭色              | 雲母、石英、白色粒     | Ⅰ層部内外横ナデ。脚部外縁位ヘラナデ。内ナデ。ヘラナデ。外面二次焼成の産物多い。             |
| 17 | 土師器<br>盃    | 口縁一部底部2/3        | 27.3      | 18.8        | 7.2         | 内外暗褐色色                      | 雲母、石英、長石、砂粒   | Ⅰ層部内外横ナデ。脚部外縁位ヘラナデ。内ナデ。ヘラナデ。外面二次焼成による器面割傷。           |
| 18 | 土師器<br>盃    | 口縁一部底部下平         | (20.9)    | 15.5        | -           | 内外赤褐色色一部炭褐色色                | 雲母、赤色粒、白色粒、砂粒 | Ⅰ層部内外横ナデ。脚部外縁位ヘラナデ。内縁位ヘラナデ。                          |
| 19 | 土師器<br>盃    | 口縁一部底部下平         | 17.3      | 17.2        | 16.0        | 内外赤褐色色                      | 白色粒、雲母、赤色粒、砂粒 | Ⅰ層部内外横ナデ。脚部外縁位ヘラナデ。内ナデ。                              |
| 20 | 土師器<br>盃    | 口縁一部底部2/3        | 22.0      | 16.8        | -           | 外淡褐色色一部炭色、内暗茶褐色色            | 雲母、白色粒、長石、砂粒  | Ⅰ層部内外横ナデ。脚部外縁位ヘラナデ。内ナデ。                              |
| 21 | 土師器<br>ナツメ玉 | 定形               | 全長<br>1.2 | 最大幅<br>0.8  | 孔径<br>0.15  | 重さ<br>0.8 g                 |               |  |
| 22 | 土師器<br>丸玉   | 定形               | 全長<br>1.0 | 最大幅<br>1.0  | 孔径<br>0.1   | 重さ<br>1.1 g                 |               |  |
| 23 | 土師器<br>丸玉   | 1/2              | 全長<br>1.1 | 最大幅<br>1.2  | 孔径<br>0.1   | 重さ<br>0.9 g                 |               |  |
| 24 | 土師器<br>ナツメ玉 | 定形               | 全長<br>2.2 | 最大幅<br>1.5  | 孔径<br>0.1   | 重さ<br>4.6 g                 |               |  |

08D 遺物観察表 (2) (第7・8・9図) 18.19.20

| 器種 | 部位          | 計測値 (cm) |            |            |            | 色調          | 胎土            | 調整・文様等                  |
|----|-------------|----------|------------|------------|------------|-------------|---------------|-------------------------|
|    |             | 器高       | 口径         | 底径         | 底径         |             |               |                         |
| 36 | 土製品<br>ナツメ玉 | 完形       | 全長<br>2.1  | 最大幅<br>1.4 | 孔径<br>0.15 | 黒色          |               |                         |
| 27 | 土製品<br>ナツメ玉 | 1/3      | 全長<br>1.2  | 最大幅<br>1.4 | 孔径<br>0.2  | 黒色<br>1.6 g |               |                         |
| 28 | 土製品<br>三輪玉  | 2/3      | 全長<br>1.6  | 最大幅<br>1.3 | 孔径<br>0.15 | 黒色<br>1.5 g |               |                         |
| 29 | 土製品<br>勾玉   | 2/3      | 全長<br>(27) | 最大幅<br>1.5 | 孔径<br>0.2  | 黒色<br>29 g  |               | カマドソデ内。                 |
| 30 | 土製品<br>支脚   | 完形       | 縦径<br>14.0 | 淵幅<br>5.2  | 基底幅<br>8.6 | 褐色色         | 滑り多量、長石<br>砂粒 | 厚さ62cm、重さ711.1 g<br>ナデ。 |

## 第2節 奈良・平安時代

今回の調査においては、8世紀末葉～10世紀前半の竪穴建物跡6棟、ピット18基、掘立柱建物跡2棟を検出した。なお、ピット・掘立柱建物については、第3.4節として扱った。以下報告する。

## 02D (第10.11図・図版1.5)

**位置:**調査区北東側。**確認面:**Ⅲ層上面。**主軸方位:**ほぼ南北方位。**重複関係:**特になし。**規模・平面形:**3.2m × 3.2m × 深さ0.48mの方形 **壁:**周溝からほぼ垂直に立ち上がる。**床面:**ハードルームを10cm掘り込み、貼り床とする。全体に硬化している。**周溝:**南壁から西壁で周回する。幅20cmで深さ5cm。覆土は1mm大ロームブロック混じりの暗褐色土でやや軟質。**カマド:**検出されなかったが、砂質粘土が中央で検出されている。**ピット:**西壁際中央に0.3mの円形で深さ27cmの出入口ピット。**覆土:**4層に分層。2層はロームブロック混入の暗褐色土で廃棄時の埋戻し土である。**遺物出土状態:**トータルステーションで30点出土しているが、覆土中からの出土がやや多い。また、覆土中位から打ち欠き土器が6点出土している。

## 02D 遺物観察表 (第10・11図) 20.21

| 器種 | 部位          | 計測値 (cm)         |           |          |           | 色調             | 胎土              | 調整・文様等   |
|----|-------------|------------------|-----------|----------|-----------|----------------|-----------------|--|
|    |             | 器高               | 口径        | 底径       | 底径        |                |                 |  |
| 1  | 土師器<br>土    | 口縁部一部欠           | 4.0       | 12.7     | 6.4       | 内外淡褐色          | 長石、雲母、赤色粒、白色粒   | ロクロ成形。底部回転軸り磨し後周縁及び下部回転軸へう磨き。外部外側に「」文様。口縁部打ち欠き。                  |
| 2  | 土師器<br>坏    | 口縁～底部2/3         | 3.5       | 12.6     | 5.7       | 内外淡褐色          | 雲母、白色粒          | ロクロ成形。体部下部回転軸り磨し。底部切り磨し不明。手持ちへう磨き調整。体部中位外側に縦線で「大」文様。2ヶ所において打ち欠き。 |
| 3  | 土師器<br>坏    | 口縁～底部2/3         | 3.9       | 12.3     | 6.6       | 外淡褐色<br>内暗赤褐色  | 雲母、白色粒          | ロクロ成形。体部下端回転軸り磨し。底部切り磨し不明。回転軸へう磨き調整。打ち欠きが見られる。                   |
| 4  | 土師器<br>陶    | 底部全周<br>口縁～体部1/4 | 3.2       | 14.5     | 5.5       | 内外淡褐色          | 雲母、白色粒<br>赤色粒   | ロクロ成形。体部下端回転軸り磨し。内面磨やかな横位へう磨き。底部回転軸り磨し後周縁回転軸り磨き。打ち欠きが見られる。       |
| 5  | 土師器<br>坏    | 口縁部片             | -         | -        | -         | 内外淡褐色          | 雲母、白色粒          | ロクロ成形。外面に不明書あり。  |
| 6  | 土師器<br>高台付皿 | 底部全周<br>口縁1/4    | 2.7       | 13.6     | 6.6       | 内外淡褐色          | 雲母、白色粒          | ロクロ成形。内面に罕な横位へう磨き。打ち欠きが見られる。                                     |
| 7  | 土師器<br>高台付皿 | 底部全周             | (2.4)     | -        | 7.2       | 内外淡褐色          | 雲母、小石粒          | ロクロ成形。底部附高台。内へう磨き。打ち欠き全周。  |
| 8  | 土師器<br>高台付皿 | 底部全周             | (2.3)     | -        | 5.8       | 内外淡褐色          | 雲母、長石、白色粒       | ロクロ成形。体部下位回転軸り磨し。内面に罕なへう磨き。底部附高台。打ち欠き全周。                         |
| 9  | 信濃器<br>葉    | 口縁～胴部1/4         | (13.8)    | 23.8     | -         | 内外淡褐色          | 雲母、白色粒<br>小石粒   | ロクロ成形。口縁部内外横ナデ。胴部外側に平行形き目文。内へうナデ。                                |
| 10 | 信濃器<br>葉    | 口縁部片             | -         | -        | -         | 内外淡褐色          | 白色粒、雲母<br>長石、砂粒 | ロクロ成形。口縁部内外横ナデ。胴部外ナデ。内へうナデ。                                      |
| 11 | 信濃器<br>葉    | 口縁部片             | -         | -        | -         | 内外淡褐色          | 雲母、白色粒<br>砂粒    | ロクロ成形。口縁部主縁及び口縁部つまみ上げ。胴部外側に平行形き目文。内へうナデ。                         |
| 12 | 土師器<br>葉    | 口縁部～胴部1/5        | (7.8)     | 17.8     | -         | 内外淡褐色～<br>内淡褐色 | 雲母、白色粒<br>赤色粒   | ロクロ成形。口縁部内外横ナデ。胴部外側にへう磨き。内へうナデ。                                  |
| 13 | 土師器<br>葉    | 口縁部片             | -         | -        | -         | 外淡赤褐色<br>内淡赤褐色 | 雲母、小石粒          | 口縁部内外横ナデ。胴部外ナデ。内へうナデ。ナデ。   |
| 14 | 信濃器<br>葉    | 底部1/5            | (2.3)     | -        | 12.8      | 内外黒灰色          | 雲母、白色粒          | ロクロ成形。胴部外側にへう磨き。底部外ナデ。内へうナデ。                                     |
| 15 | 石製品<br>砥石   |                  | 縦径<br>5.3 | 幅<br>4.2 | 厚さ<br>4.2 | 重さ<br>101.9 g  |                 | 使用面は上下両側の4面。   |

## 03D (第11～13図・図版5)

**位置:**調査区南側隅。**確認面:**Ⅲ層上面。**主軸方位:**ほぼ南北方位。**重複関係:**特になし。**規模・平面形:**4.7m × 3.7m 以上 × 深さ0.62mの方形 **壁:**周溝からほぼ垂直に立ち上がる。**床面:**ハードルーム

を28cm掘り込み、貼り床とする。全体に硬化している。周溝：調査区内で周回する。幅25cmで深さ10cm。覆土は暗褐色土主体で多量のロームを混入する。軟質。カマド：検出されなかったが、調査区外の西壁に想定可能。ピット：P12が柱穴でP3が出入口ピットに想定される。覆土：7層に分層。黒褐色土から暗褐色土で自然埋没層である。遺物出土状態：覆土中からの出土が主体。また、覆土中から打ち欠き土器が5点出土している。

03D 遺物観察表 (第12・13図) 22.23

| No. | 器種          | 部位               | 計測値 (cm)    |            |              | 色調                | 胎土               | 調査・文書等   |
|-----|-------------|------------------|-------------|------------|--------------|-------------------|------------------|--|
|     |             |                  | 器高          | 口径         | 底径           |                   |                  |  |
| 1   | 土師器<br>杯    | 口縁1/4<br>底部全周    | 3.8         | 13.4       | 6.8          | 内外淡褐色             | 雲母、白色粒           | ロクロ成形。底部下部へウケ割り。底面は切り磨し不明。その後回転へウケ割り。底面・口縁部3/4打ち欠き。                    |
| 2   | 土師器<br>杯    | 口縁1/3<br>底部全周    | 3.7         | 12.0       | 6.7          | 内外淡褐色             | 雲母、赤色粒、<br>砂粒、長石 | ロクロ成形。底部下部回転へウケ割り。<br>底面磨き未切り磨し、後周縁回転へウケ割り。3ヶ所打ち欠き。                    |
| 3   | 土師器<br>杯    | 口縁一底部2/3         | 2.8         | 11.8       | 6.9          | 内外淡褐色             | 雲母、白色粒           | ロクロ成形。底部下部回転へウケ割り。底面回転未切り磨し、後周縁回転へウケ割り。3ヶ所打ち欠き。                        |
| 4   | 土師器<br>杯    | 口縁一底部1/3         | 4.0         | 11.2       | 6.4          | 内外黒褐色～<br>赤褐色     | 白色粒、雲母           | ロクロ成形。底部下部回転へウケ割り。底面回転未切り磨し、後周縁回転へウケ割り。2ヶ所打ち欠き。                        |
| 5   | 土師器<br>杯    | 口縁部1/3<br>底部全周   | 4.8         | 12.8       | 6.9          | 外淡褐色<br>内黒色       | 雲母、白色粒<br>小石粒    | ロクロ成形。不明。回転へウケ割り。<br>底面切り磨し不明。回転へウケ割り。<br>内黒色胎土。縁位へウケ割り。打ち欠き三方。        |
| 6   | 土師器<br>杯    | 底部1/4            | (1.0)       | -          | 5.8          | 内外淡褐色             | 雲母、白色粒           | ロクロ成形。外底部下部回転へウケ割り。内ナデ。  |
| 7   | 土師器<br>鉢    | 底部全周<br>口縁一底部1/4 | 9.1         | 25.5       | 10.4         | 内外淡褐色             | 雲母、白色粒、<br>赤色粒   | ロクロ成形。外底部下部～中部回転へウケ割り。<br>内縁位へウケ割り。切り磨し不明。回転へウケ割り調整。                   |
| 8   | 土師器<br>杯    | 底部一底部2/3         | (3.4)       | -          | 5.4          | 内外淡褐色             | 白色粒、雲母<br>砂粒     | ロクロ成形。底面切り磨し不明。回転未切り磨し。<br>底面下部回転へウケ割り。内クロロナデ。<br>底部外面下部に不明遺書。         |
| 9   | 土師器<br>杯    | 口縁一底部1/5         | (4.9)       | 14.4       | -            | 内外淡褐色             | 雲母、白色粒           | ロクロ成形。外クロロナデ。底部下部へウケ割り。<br>内縁位へウケ割り。                                   |
| 10  | 土師器<br>杯    | 底部全周<br>口縁1/8    | 3.7         | 11.8       | 6.3          | 内外淡褐色             | 雲母、白色粒           | ロクロ成形。外クロロナデ。底部下部回転へウケ割り。<br>底面回転未切り磨し、後周縁回転へウケ割り。<br>底部外面に横位で「大万」の遺書。 |
| 11  | 土師器<br>杯    | 口縁部片             | -           | -          | -            | 内外淡褐色             |                  | ロクロ成形。不明遺書。  |
| 12  | 土師器<br>杯    | 口縁部片             | -           | -          | -            | 内外淡褐色             |                  | ロクロ成形。不明遺書。  |
| 13  | 土師器<br>杯    | 口縁部片             | -           | -          | -            | 内外淡褐色             |                  | ロクロ成形。「大万」か。横位の遺書。   |
| 14  | 土師器<br>杯    | 底部片              | -           | -          | -            | 内外淡褐色             |                  | ロクロ成形。底部下部に「大万」か。横位の遺書。  |
| 15  | 土師器<br>杯    | 口縁部片             | -           | -          | -            | 内外淡褐色             |                  | ロクロ成形。口縁部に不明遺書。  |
| 16  | 土師器<br>杯    | 口縁部片             | -           | -          | -            | 内外淡褐色             |                  | ロクロ成形。口縁部外に「」の横位遺書。  |
| 17  | 土師器<br>杯    | 口縁部片             | -           | -          | -            | 内外淡褐色             |                  | 不明遺書有。   |
| 18  | 土師器<br>高台付皿 | 高台部全周            | (2.3)       | -          | 7.0          | 内外褐色              | 赤色粒、雲母、<br>白色粒   | ロクロ成形。底部外面回転未切り磨し後高台部貼付。<br>底部内面へウケ割り。                                 |
| 19  | 知宗器<br>蓋    | 口縁一胴部上半          | -           | -          | -            | 内外灰褐色             | 小石粒、長石、<br>白色粒   | ロクロ成形。口縁部内外クロロナデ。胴部外縁位平行<br>印目文。突起は方形。内内形当て具載。                         |
| 20  | 知宗器<br>蓋    | 口縁部片             | -           | -          | -            | 内外淡褐色             | 白色粒、長石、<br>雲母    | ロクロ成形。口縁部内外クロロナデ。<br>くすべ焼成。  |
| 21  | 知宗器<br>蓋    | 口縁部片             | -           | -          | -            | 内外淡褐色             | 長石、白色粒           | 口縁部内外クロロナデ。  |
| 22  | 知宗器<br>蓋    | 底部1/3            | (4.4)       | -          | 12.3         | 外暗褐色<br>内赤褐色      | 白色粒              | ロクロ成形。外へウケ割り。内クロロナデ。   |
| 23  | 土師器<br>蓋    | 底部一胴部下半          | (11.1)      | -          | 15.4         | 内外灰褐色             | 雲母、白色粒、<br>砂粒    | ロクロ成形。底部六孔式。胴部下半へウケ割り。<br>外縁位印目文。内内形当て具載。                              |
| 24  | 土師器<br>蓋    | 口縁部              | -           | -          | -            | 内外淡褐色             | 雲母、白色粒           | 口縁部内外横ナデ。<br>胴部外縁位へウケ割り。内へウケ割り。  |
| 25  | 土師器<br>小型蓋  | 口縁部片             | -           | -          | -            | 白色粒、砂粒、<br>雲母     |                  | 口縁部内外横ナデ。<br>胴部外縁位へウケ割り。内へウケ割り。  |
| 26  | 土師器<br>蓋    | 底部片              | (2.5)       | -          | 7.0          | 外淡褐色<br>内淡褐色      | 白色粒、雲母           | 底部外面本遺書。<br>底部下部へウケ割り。内ナデ。   |
| 27  | 土師器<br>蓋    | 底部1/2前           | (3.6)       | -          | 6.0          | 内外淡褐色             | 雲母、白色粒<br>赤色粒    | 胴部外縁位へウケ割り。内へウケ割り。   |
| 28  | 青銅器<br>刀子   | 基部一<br>刀部両端欠     | 長さ<br>3.4   | 幅<br>0.7   | 重さ<br>3.1 g  |                   |                  | 基部外縁両端欠。<br>幅幅0.7～0.8cm  |
| 29  | 青銅器<br>鏃    | 両端欠損             | 長さ<br>(7.0) | 刀部幅<br>2.4 | 重さ<br>21.4 g |                   |                  | 両端欠損。  |
| 30  | 青銅器<br>結縁鏃  | 軸部両端欠            | 長さ<br>(7.0) | 幅<br>0.5   | 重さ<br>7.7 g  |                   |                  | 両端欠損。  |
| 31  | 青銅器<br>帯金具  | 四方黄金具            | 3.1         | 厚さ<br>0.2  | 重さ<br>9.4 g  |                   |                  |  |
| 32  | 加曜石製<br>石鏃  | 基部一鉄部            | 全長<br>1.5   | 幅<br>0.8   | 重さ<br>0.4 g  |                   |                  |  |
| 33  | 土師器<br>蓋    | 胴部片              | -           | -          | -            | 外淡褐色(赤<br>粉) 内赤褐色 | 白色粒              | 洗滌済み印目文。   |

## 04D (第 14.15 図・図版 2.5)

**位置:** 調査区中央南側。**確認面:** II c 層中。**主軸方位:** N -90° - W で西に振れている。**重複関係:** 特になし。**規模・平面形:** 3.5m × 3.9m × 深さ 0.48m のやや南北に長い方形。**壁:** 周溝からはほぼ垂直に立ち上がる。**床面:** ハードローンを 10cm 程度掘り込み地床とする。特に強い硬化範囲は見られない。反対に北壁辺は軟弱である。**周溝:** 全周し、カマド袖下に及ぶ。幅 0.2m で深さ 0.05 ~ 0.1m。覆土はローム粒混じりの暗褐色土でやや軟質。**カマド:** 西壁中央に壁を掘り込んで作られる。焚口部前面にピットが見られるがカマド関連ではない。焚口は明瞭ではなく掘り込みが二段で、煙道立ち上がり部分においても段が見られる。袖部の構築は灰色砂質粘土を積み上げている。**特記事項:** 本跡は輪羽口・鉄滓の出土、鍛冶炉の検出から、鍛冶工房跡と判断した。カマド前面に灰色砂と共に鉄滓の小片が P2 に向けて散在していた。鉄滓は 38 点・900 g 量出土した。P2.3 の内 P2 が焼土の堆積と底面が強く焼けた状況が見られ、鍛冶炉と想定される。P2 の北側に接して輪羽口がつぶれた状態で出土した。また鍛冶炉東側に P4 ~ P8 の小ピットが見られた。0.15 ~ 0.2m の円形で深さ 0.03 ~ 0.1m 程度。覆土は暗褐色土に焼土粒・焼土ブロックを混入している。ピット:P1 が出入口ピットで、0.4m の円形で深さ 0.21m である。覆土は暗褐色土で 2mm 大ローム粒含む層である。**覆土:** 6 層に分層。暗褐色土系の自然埋積層である。**遺物出土状態:** トータルステーションで 186 点出土している。カマド内、床面から若干浮いて出土したものが主体。

04D 遺物観察表 (第 14・15 図) 24.25<sup>分</sup>

| 器 種        | 部 位               | 計 測 値 (cm)       |           |              | 色 調                  | 動 土           | 調査・文様等  |
|------------|-------------------|------------------|-----------|--------------|----------------------|---------------|---|
|            |                   | 部 高              | 口 径       | 底 径          |                      |               |   |
| 1 土師器 鉢    | 口縁~底部 2/3         | 40               | 13.2      | 6.6          | 内外褐色<br>外赤褐色一<br>層褐色 | 白色粒、雲母        | ロクロ成形、内外ロクロナデ、底部下面回転ヘラ周り、底面回転赤切り磨し後周縁回転ヘラ周り、2ヶ所で打ち欠き。 |
| 2 灰土器 杯    | 底部全周<br>口縁~底部 1/4 | 4.9              | 13.4      | 6.6          | 内外暗赤褐色               | 赤色粒、白色粒、雲母、砂粒 | ロクロ成形、口縁~底部ロクロナデ、下面回転ヘラ周り、底面回転赤切り磨し未調整。               |
| 3 土師器 高台付埴 | 高台部全周             | (27)             | -         | 7.7          | 内外褐色                 | 白色粒、雲母、石英     | ロクロ成形、内外面ナデ。  |
| 4 灰土器 鉢    | 口縁部片              | -                | -         | -            | 内外暗褐色                | 雲母、白色粒、小石粒    | ロクロ成形、内外ロクロナデ。  |
| 5 灰土器 小壺   | 口縁部片              | -                | -         | -            | 内外暗褐色                | 雲母、白色粒、赤色粒    | ロクロ成形、口縁部内外ロクロナデ、胴部外縁回転ヘラ周り、内ナデ。                      |
| 6 土師器 小壺   | 口縁部片              | -                | -         | -            | 内外淡褐色                | 雲母、白色粒        | ロクロ成形、口縁部内外赤ナデ、胴部ナデ。                                  |
| 7 土師器 壺    | 胴部片               | -                | -         | -            | 外褐色一部<br>赤褐色         | 雲母、白色粒、砂粒     | 輪軸成形。<br>胴部外縁子取明し目立、内ナデ。                              |
| 8 土師器 壺    | 胴部片               | -                | -         | -            | 内外淡褐色                | 長石、石英、雲母、砂粒   | 外縁位赤き取ヘラ周り、内ヘラナデ。                                     |
| 9 土師器 壺    | 底部 2/3            | (40)             | -         | 11.5         | 内外淡褐色<br>一部赤褐色       | 白色粒、雲母、石英     | ロクロ成形、胴部外縁位ヘラ周り、内ロクロナデ、底部内縁赤切り磨し後周縁ヘラ周り、内ナデ。          |
| 10 鉄製品 紡錘車 | 輪軸                | 七角形<br>4.6 × 5.1 | 孔径<br>0.4 | 重さ<br>13.5 g | -                    | -             | -   |
| 11 鉄製品 紡錘車 | 輪軸                | 縦長<br>(7.7)      | 幅<br>0.5  | -            | -                    | -             | 断面四角形。  |
| 12 鉄製品 紡錘車 | 輪軸                | 縦長<br>(9.0)      | 幅<br>0.5  | -            | -                    | -             | 断面円形。   |

## 05D (第 16.17 図・図版 3.6)

**位置:** 調査区南西隅。**確認面:** III 層上面。**主軸方位:** N -24° - E で東に振れている。**重複関係:** 特になし。**規模・平面形:** 3.1m 以上 × 3.2m 以上 × 深さ 0.5m の方形。**壁:** 床面からやや斜め方向に立ち上がる。**床面:** ハードローンを 40cm 掘り込み、地床ないし貼り床とする。特に硬化している状況ではない。**周溝:** なし。**カマド:** 2 か所において検出された。北カマドは部分的な検出で、灰色砂質粘土の袖部分と焚口・煙道の一部が検出されている。土層は焼土粒、灰色砂質粘土、暗褐色土の混合層である。東カマドは左袖と焚口・煙道を検出した。土層は天井部崩落層、暗褐色土に焼土粒を含んだ層が確認された。ピット: 北東コーナーに 1 か所検出されたが、本跡に附属するものではない。**覆土:** 3 層に分層。黒褐色系であるが、3 ~ 5mm 大のロームブロックを含んでおり、上層は廃棄時の埋戻し土である。**遺物出土**

状態：トータルステーションで約 70 点出土した。カマド内・床面上からの出土が多い。

05D 遺物観察表 (第 16・17 図) 25.26<sup>ア</sup>

| 器種         | 部位                | 計測値 (cm) |      |          | 色調            | 胎土            | 調整・文様等  |
|------------|-------------------|----------|------|----------|---------------|---------------|---|
|            |                   | 器高       | 口径   | 底径       |               |               |   |
| 1 土師器 罎    | 完形                | 3.6      | 12.5 | 5.6      | 内外橙褐色         | 雲母、白色粒、小石粒、砂粒 | ロクロ成形。体部下腹回転へう割り。底部切り磨し不明。回転へう割り。体部正位で「」書番。         |
| 2 土師器 罎    | 底部2/3<br>口縁～体部1/4 | 3.8      | 12.6 | 7.4      | 内外橙褐色         | 雲母、赤色粒、砂粒     | ロクロ成形。口縁～体部内外ロクロナデ。底部回転赤切り磨し不明。回転へう割り。              |
| 3 土師器 罎    | 底部全周<br>口縁～体部1/4  | 3.9      | 12.2 | 6.8      | 内外淡橙褐色        | 雲母、白色粒、小石粒    | ロクロ成形。体部下腹回転へう割り。底部回転赤切り磨し不明。回転へう割り。                |
| 4 土師器 罎    | 底部全周              | (1.6)    | -    | 6.8      | 内外橙褐色         | 雲母、白色粒        | ロクロ成形。体部下腹回転へう割り。内縁位へう磨き。底部切り磨し不明。回転へう割り。           |
| 5 土師器 罎    | 底部2/3             | (2.1)    | -    | 6.4      | 内外橙褐色         | 雲母、赤色粒、白色粒    | ロクロ成形。体部下腹回転へう割り。底部回転赤切り磨し後同様にへう割り。底部外面及び体部外面に「」書番。 |
| 6 土師器 罎    | 底部片               | -        | -    | -        | 内外淡橙褐色        | 雲母、赤色粒、白色粒    | ロクロ成形。「」か。書番。底部外面に「」か。書番。                           |
| 7 土師器 罎    | 口縁～底部1/3          | 2.6      | 13.4 | 7.0      | 内外橙褐色         | 赤色粒、雲母、白色粒    | ロクロ成形。外ロクロナデ。内縁位へう磨き。底部回転赤切り磨し後付け存在。                |
| 8 土師器 罎    | 底部全周              | (2.9)    | -    | 6.5      | 外橙褐色<br>内紫黒褐色 | 雲母、赤色粒、白色粒    | ロクロ成形。外ロクロナデ。内縁位へう磨き。底部輪状付け存在。                      |
| 9 埴土器 罎    | 口縁～胴部片            | -        | -    | -        | 内外紫褐色         | 白色粒、雲母、砂粒     | ロクロ成形。胴部外縁位平行叩き目。内内形当て具。ナデ。ヒラナデ。くすべ焼成。              |
| 10 埴土器 罎   | 胴部片               | -        | -    | -        | 外淡橙褐色<br>内紫褐色 | 雲母、白色粒、砂粒     | 粘土磨き上げ成形。外縁位平行叩き目。内内形当て具。ナデ。                        |
| 11 土師器 罎   | 胴部中位～下半           | -        | -    | -        | 内外橙褐色         | 雲母、長石、石英、砂粒   | 外縁位磨き上げ成形。外縁位平行叩き目。内へうナデ。                           |
| 12 埴土器 罎   | 底部～胴部1/5          | (6.1)    | -    | 14.8     | 内外赤褐色         | 雲母、白色粒        | 底面五孔状。胴部外縁位へう割り。内ロクロナデ。                             |
| 13 土師器 罎   | 底部全周              | (3.4)    | -    | 7.0      | 外淡橙褐色<br>内淡褐色 | 石英、長石、雲母      | 外縁位へう割り。内ナデ。底面注意あり。                                 |
| 14 埴土器 鉢縁平 | 上部欠損              | 遺存径 16.6 | -    | 重さ 22.6g | -             | -             | 縁部は円形で4.1cm。輪部太さ0.6cm。                              |

07D (第 18～20 図・図版 3.6)

位置：調査区中央北側。確認面：Ⅱ c 層中。主軸方位：N-24°-E で東に振れている。重複関係：08D を切る。規模・平面形：4.1m × 4.0m × 深さ 0.45m の方形 壁：周溝からほぼ垂直に立ち上がる。床面：ハードロームを 15～20cm 程度掘り込み地床と 08D 部分は貼り床。特に強い硬化範囲はカマド前に部分的に見られる。周溝：ほぼ全周する。幅 0.2m 程度で深さ 0.05～0.1m。覆土はローム粒・ロームブロック混じりの褐色土でやや軟質。カマド：北壁中央に壁を掘り込んで作られる。両袖の遺存は良好である。焚口の掘り込みは 0.32m と深く、焼土粒・炭化粒の堆積が多い。焚口部奥で段を有し、煙道立ち上がり部分においても段があり、角度をもって立ち上がる。袖部の構築は灰色粘土を核として、その上部に暗褐色土＋灰色粘土を乗せて構築される。P3 前に 0.5m × 0.7m の範囲で、加熱範囲が見られた。用途不明。ピット：4 か所確認できた。P3 が出入口ピットで、0.4m の円形で深さ 0.11m。覆土は暗褐色土で 1cm 大ロームブロックを含む。P1.2.4 が付属ピットで、各 0.66m、0.23m、0.28m の深さである。覆土：8 層に分層。暗褐色土にロームブロックを含む層で人為的埋戻し土層である。遺物出土状態：トータルステーションで 244 点出土している。カマド内及び床面から若干浮いて出土したものが主体。

07D 遺物観察表 (1) (第 19・20 図) 27.28<sup>ア</sup>

| 器種      | 部位            | 計測値 (cm) |      |     | 色調     | 胎土         | 調整・文様等   |
|---------|---------------|----------|------|-----|--------|------------|--|
|         |               | 器高       | 口径   | 底径  |        |            |  |
| 1 土師器 罎 | 口縁～<br>体部2+高欠 | 4.0      | 12.1 | 6.2 | 内外橙褐色  | 雲母、赤色粒、白色粒 | ロクロ成形。体部下腹底部周縁回転へう割り。底部回転赤切り磨し。口縁～体部2+所で行ち欠き。  |
| 2 土師器 罎 | ほぼ完形          | 3.8      | 11.4 | 6.5 | 内外橙褐色  | 雲母、白色粒、赤色粒 | ロクロ成形。体部中位～下腹回転へう割り。底部切り磨し不明。回転へう割り。外底正位「米」書番。 |
| 3 埴土器 罎 | 口縁～底部1/2      | 4.0      | 14.0 | 6.8 | 内外紫褐色  | 雲母、長石、赤色粒  | ロクロ成形。底部切り磨し不明。外面及び体部下腹回転へう割り。くすべ焼成。           |
| 4 土師器 罎 | 底部全周          | (2.6)    | -    | 6.8 | 内外橙褐色  | 赤色粒、白色粒、雲母 | ロクロ成形。体部下腹回転へう割り。底部回転赤切り磨し後同様にへう割り。底部外面に「米」書番。 |
| 5 土師器 罎 | 口縁部片          | -        | -    | -   | 内外淡橙褐色 | 雲母、白色粒     | ロクロ成形。体部下腹回転へう割り。底部外面に不明書番。                    |

07D 遺物観察表 (2) (第19・20図) 27.28

| 器種            | 部位               | 計測値(cm)     |           |             | 色調                      | 胎土                       | 調整・文様等   |
|---------------|------------------|-------------|-----------|-------------|-------------------------|--------------------------|--|
|               |                  | 器高          | 口径        | 底径          |                         |                          |  |
| 6 土師器<br>環    | 口縁部1/3丈          | 4.8         | 15.0      | 6.8         | 外淡褐色色<br>口縁部白色<br>内淡褐色色 | 赤母、赤色粒、<br>白色粒           | ロクロ成形。体部下段回転ヘラ削り。<br>内縁部ヘラ削り。白色処理。<br>底縁部赤土塗り。黒斑輪転削ヘラ削り。 |
| 7 土師器<br>陶    | 底部全周<br>口縁-体部2/3 | 4.8         | 15.3      | 7.6         | 外淡褐色色<br>内淡褐色色          | 長石、赤母、<br>白色粒            | ロクロ成形。体部下段回転ヘラ削り。<br>内縁部ヘラ削り。白色処理。<br>底縁部赤土塗り。黒斑輪転削ヘラ削り。 |
| 8 土師器<br>葉    | 口縁部1/5           | (4.8)       | 18.6      | -           | 内汚褐色色                   | 赤母、赤色粒<br>白色粒、小石粒        | 口縁部内外縁ナデ。<br>胴部外へラ削り。成造型。                                |
| 9 土師器<br>葉    | 口縁部1/5           | (5.2)       | 19.6      | -           | 内汚褐色色                   | 赤母、赤色粒、<br>赤石、白色粒        | ロクロ成形。内外縁ナデ。<br>胴部外縁位へラ削り。内ナデ、ヒラナデ。                      |
| 10 土師器<br>小型壺 | 口縁-<br>胴部上半1/4   | (7.1)       | 18.0      | -           | 内汚褐色色                   | 赤母多含、<br>小石粒、白色粒         | ロクロ成形。口縁部内外縁ナデ。<br>胴部外ナデ。内ヘラナデ。                          |
| 11 土師器<br>小型壺 | 口縁-<br>胴部上半1/4   | -           | -         | -           | 内汚褐色色                   | 赤母、白色粒、<br>赤色粒           | ロクロ成形。口縁部内外縁ナデ。<br>胴部外縁位へラ削り。内ヘラナデ。                      |
| 12 灰土器<br>葉   | 口縁部片             | -           | -         | -           | 外赤褐色色                   | 赤母多含、<br>長石、白色粒          | ロクロ成形。口縁部内外縁ナデ。<br>胴部外縁位平行叩き目文。内ヘラナデ。                    |
| 13 灰土器<br>葉   | 胴部下半             | -           | -         | -           | 外赤褐色色                   | 赤母多含、<br>長石、赤石、<br>赤石、砂粒 | ロクロ成形。外縁位平行叩き目文。下段は横ヘラ削り。<br>内ロクロナデ、ヘラナデ。                |
| 14 土師器<br>葉   | 胴部片              | -           | -         | -           | 内汚褐色色                   | 白色粒、赤母、<br>長石            | 外縁位目状叩き。内ナデ。   |
| 15 土師器<br>葉   | 胴部片              | -           | -         | -           | 内汚褐色色                   | 赤母、赤石、<br>長石、白色粒         | 胴部外縁位歪状ヘラ削り。内ナデ。   |
| 16 土師器<br>葉   | 底部-胴部1/3         | (11.7)      | -         | 6.0         | 外赤褐色色<br>内淡褐色色          | 白色粒、赤色粒、<br>赤母           | 胴部下半は縁位へラ削り。内ヘラナデ。<br>内カマド粘土が塊状付着。                       |
| 17 土師器<br>葉   | 胴部下半             | (5.8)       | -         | -           | 外淡褐色色<br>内淡褐色色          | 赤石、赤母、<br>長石、砂粒          | 胴部外歪状ヘラ削り。内ナデ、ヘラナデ。                                      |
| 18 鉄製品<br>刀子  | 基部および<br>刃部の一部   | 横長<br>(5.7) | 縦幅<br>0.6 | 重さ<br>6.5 g |                         |                          |  |

09D (第21.22図・図版7)

位置：調査区北西隅。確認面：Ⅲ層上面。主軸方位：N-18°-Eで東に振れている。重複関係：特になし。規模・平面形：3.3m以上×1.2m以上×深さ0.26mの方形か。壁：床面から垂直に立ち上がる。床面：ソフトルーム中の地床である。周溝：確認されなかった。カマド：検出されなかったが、f地点の同時期の竈穴建物跡では、東側に構築されている。ピット：3カ所確認された。P1が出入口ピット。P2が貯蔵穴に想定。P3は不明。覆土：4層に分層。1.2層は自然埋没層で、3.4層は住居廃絶時の炭化材層か。遺物出土状態：覆土中から甕・鉄製品が出土した。

09D 遺物観察表 (第21・22図) 28.29

| 器種           | 部位             | 計測値(cm)     |           |           | 色調             | 胎土             | 調整・文様等  |
|--------------|----------------|-------------|-----------|-----------|----------------|----------------|---|
|              |                | 器高          | 口径        | 底径        |                |                |   |
| 1 土師器<br>環   | 口縁部片           | -           | -         | -         | 外赤褐色色<br>内淡褐色色 | 赤母、白色粒、<br>小石粒 | ロクロ成形。体部下段ヘラ削り。   |
| 2 土師器<br>環   | 口縁部片           | -           | -         | -         | 外淡褐色色<br>内淡褐色色 | 赤母、白色粒         | ロクロ成形。体部下段ヘラ削り。   |
| 3 土師器<br>葉   | 口縁-胴部下半<br>1/3 | (22.9)      | (23.8)    | -         | 内汚褐色色          | 赤母、白色粒、<br>砂粒  | 口縁部内外縁ナデ。胴部外上段縁位へラ削り。<br>下段縁位へラ削り。内ヘラナデ。<br>外部下段に縞状あり。内面ヘラナデ。 |
| 4 灰土器<br>長頸壺 | 底部1/3<br>胴部1/3 | (15.6)      | -         | 12.0      | 内汚灰白色          | 長石、小石粒<br>多量   | ロクロ成形。胴部中央一下段回転ヘラ削り。<br>内口ロクロ目状。底部内側と胴部底部赤斑。                  |
| 5 石製品<br>砥石  | 上下欠損           | 縦長<br>(7.7) | 横長<br>2.9 | 厚さ<br>2.4 | 孔径<br>0.7cm    | 重さ<br>30.9 g   | 磨石。内面において磨られる。<br>背面に刃部。                                      |
| 6 石製品        |                | 縦長<br>10.5  | 横長<br>9.5 | 厚さ<br>4.1 | 重さ<br>508.3 g  |                | 赤母片削。   |
| 7 鉄製品<br>小刀  |                | 遺存長<br>7.2  | 幅<br>2.5  | 厚さ<br>0.6 | 重さ<br>14.1 g   |                | 横刃形状か。  |
| 8 鉄製品<br>小刀  |                | 遺存長<br>16.5 | 幅<br>4.4  | 厚さ<br>0.6 | 重さ<br>30.1 g   |                |   |

### 第3節 ピット

今回の調査では、18基検出した。この中には、土層観察から掘立柱建物跡掘方に該当するものも含まれるが、規模・向きが特定できないためピットとして扱った。時期については、ほぼ奈良・平安時代に属すると考える。

01P (第23図・図版3)

位置:調査区北東側。確認面:02D 覆土中。長軸方位:東西方向。重複関係:02D を切る。規模・平面形:1.0m × 0.9m × 0.09m の隅丸長方形。壁:底面から緩やかに立ち上がる。底面:やや凹凸あり。覆土:黒色土にロームブロック含む1層のみ。遺物:なし。所見:02D 覆土中に構築しており、02P に類似することから、平安時代の墓坑と判断した。

02P (第23図・図版4)

位置:調査区中央北側。確認面:07D 覆土中。長軸方位:なし。重複関係:なし。規模・平面形:0.9m × 0.8m × 0.1m の略円形。壁:緩やかに立ち上がる。底面:やや凹凸あり。覆土:黒色土にローム粒、焼土粒含む1層のみ。遺物:1点出土。所見:出土遺物から、平安時代の墓坑と判断した。

03P (第23図・図版4)

位置:調査区中央。確認面:Ⅱc 層中。長軸方位:なし。重複関係:なし。規模・平面形:0.92m × 0.8m × 0.48m の略円形。壁:底面から直立ぎみに立ち上がる。底面:ハードローム層を0.12m程度掘り込む。平坦。覆土:3層に分層。暗褐色土にローム粒、ロームブロックを混合した層主体で全体に締まる。遺物:なし。所見:人為的埋戻し土であり、奈良平安時代の墓坑と判断した。

04P (第23図)

位置:調査区中央北側。08D カマド脇。確認面:Ⅱc 層中。長軸方位:なし。重複関係:なし。規模・平面形:0.5m × 深さ0.28m の円形。壁:底面から直立ぎみに立ち上がる。底面:平坦。覆土:2層に分層。1層は暗褐色土で粒子細かい。2層は褐色土で締まっている。遺物:なし。所見:土層観察から掘立柱建物掘方と判断した。

05P (第23図・図版4)

位置:調査区中央。確認面:Ⅱc 層中。長軸方位:なし。重複関係:なし。規模・平面形:1.0m × 0.97m × 0.6m の円形。壁:底面から直立ぎみに立ち上がる。底面:ハードローム層を0.28m程度掘り込む。平坦。覆土:5層に分層。暗褐色土にローム粒、ロームブロックを混合した層主体で全体に締まる。遺物:なし。所見:人為的埋戻し土であり、奈良平安時代の墓坑と判断した。

06P (第23図・図版4)

位置:調査区中央やや北側。確認面:Ⅱc 層中。長軸方位:東西方向。重複関係:なし。規模・平面形:0.88m × 0.68m × 0.63m のやや楕円形。壁:底面から直立して立ち上がる。底面:ハードローム層を0.28m程度掘り込む。平坦。覆土:3層に分層。暗褐色土にローム粒、ロームブロックを混合した層主体で全体に締まる。遺物:なし。所見:人為的埋戻し土であり、奈良平安時代の墓坑と判断した。

07P (第24図)

位置:調査区中央やや北側。確認面:Ⅱc 層中。長軸方位:なし。重複関係:なし。規模・平面形:0.6m × 0.5m × 0.43m のほぼ円形。壁:底面から直立ぎみに立ち上がる。底面:ハードローム層を0.1m程度掘り込む。平坦。覆土:3層に分層。暗褐色土にローム粒、ロームブロックを混合した層主体で全体に締まる。遺物:なし。所見:土層観察から掘立柱建物掘方と判断した。

08P (第24図)

位置:調査区中央やや北側。確認面:Ⅱc 層中。長軸方位:なし。重複関係:なし。規模・平面形:0.45m × 0.45m × 0.28m の円形。壁:底面から直立ぎみに立ち上がる。底面:ハードローム層を0.1m程度掘り込む。平坦。覆土:3層に分層。2層は褐色土にローム粒、ロームブロックを混合した層主体で締まる。遺物:なし。所見:土層観察から掘立柱建物掘方と判断した。

09P (第24図・図版4)

位置:調査区西側。確認面:Ⅲ層中。長軸方位:なし。重複関係:なし。規模・平面形:0.77m × 0.6m

× 0.45m の楕円形。壁：底面から角度をもって立ち上がる。底面：ハードローム層を 0.15m 程度掘り込む。平坦。覆土：4 層に分層。4 層は黒色土にローム粒、ロームブロックを混合した層主体で締まる。遺物：なし。所見：土層観察から掘立柱建物掘方と判断した。

10P (第 24 図・図版 4)

位置：調査区西側。確認面：Ⅲ層中。長軸方位：なし。重複関係：なし。規模・平面形：0.45m × 0.44m × 0.38m の円形。壁：底面から角度をもって立ち上がる。底面：ハードローム層を 0.15m 程度掘り込む。平坦。覆土：3 層に分層。1.2 層は柱痕跡、3 層は版築層。遺物：なし。所見：土層観察から掘立柱建物掘方と判断した

11P (第 24 図・図版 4)

位置：調査区西側。確認面：Ⅱ c 層中。長軸方位：なし。重複関係：a、b、c からなる。規模・平面形：1.02m × 1.0m × a0.53m、b0.83m、c0.68m の円形。壁：底面から角度をもって立ち上がる。底面：ハードローム層を 0.15～0.5m 程度掘り込む。段差有。覆土：5 層に分層。b の 1～3 層は黒色土、ロームブロックを含む層で墓坑か。a の 4.5 層は掘立柱建物掘方か。遺物：なし。所見：土層観察から a、c が掘立柱建物掘方で b が墓坑か。

13P (第 24 図・図版 4)

位置：調査区西側。確認面：Ⅲ層中。長軸方位：なし。重複関係：なし。規模・平面形：0.49m × 0.49m × 0.38m の円形。壁：底面から角度をもって立ち上がる。底面：ハードローム層を 0.18m 程度掘り込む。平坦。覆土：3 層に分層。1.2 層は柱痕跡か。3 層は版築層か。遺物：なし。所見：土層観察から掘立柱建物掘方と判断した。

14P (第 24 図・図版 4)

位置：調査区西側。確認面：Ⅲ層中。長軸方位：なし。重複関係：なし。規模・平面形：0.59m × 0.55m × 0.55m のほぼ円形。壁：底面から直立して立ち上がる。底面：ハードローム層を 0.3m 程度掘り込む。平坦。遺物：なし。所見：規模等から、奈良平安時代の墓坑と判断した。

15P (第 24 図・図版 4)

位置：調査区西側のやや南。確認面：Ⅲ層中。長軸方位：なし。重複関係：なし。規模・平面形：0.63m × 0.62m × 0.64m の円形。壁：底面から角度をもって立ち上がる。底面：ハードローム層を 0.33m 程度掘り込む。平坦。覆土：3 層に分層。1.2 層は柱痕跡、3 層は版築層。遺物：なし。所見：土層観察から掘立柱建物掘方と判断した。

16P (第 24 図)

位置：調査区西側のやや南。確認面：Ⅲ層中。長軸方位：なし。重複関係：なし。規模・平面形：0.64m × 0.63m × 0.64m の円形。壁：底面から角度をもって立ち上がる。底面：ハードローム層を 0.33m 程度掘り込む。平坦。覆土：4 層に分層。1.2 層は柱痕跡、3.4 層は版築層。遺物：なし。所見：土層観察から掘立柱建物掘方と判断した。11Pa-15P-16P で掘立柱建物を構成するか。

17P (第 24 図)

位置：調査区中央やや北側。確認面：Ⅲ層中。長軸方位：なし。重複関係：08D を切る。規模・平面形：0.96m × 0.52m 以上 × 0.58m で楕円形か。壁：底面から直立して立ち上がる。底面：ハードローム層を 0.28m 程度掘り込む。平坦。覆土：詳細不明。暗褐色土主体。遺物：なし。所見：規模等から、奈良平安時代の墓坑と判断した。

18P (第 24 図)

位置：調査区中央 07D カマ下脇。確認面：Ⅲ層中。長軸方位：なし。重複関係：なし。規模・平面形：



0.34m × 0.35m × 0.42mの円形。壁：底面から直立して立ち上がる。底面：ほぼ平坦。覆土：2層に分層。ロームブロック混じりの土層。遺物：なし。所見：土層観察から掘立柱建物掘方か。

#### 19P (第24図)

位置：調査区西側中央。確認面：Ⅲ層中。長軸方位：なし。重複関係：なし。規模・平面形：0.5m × 0.43m × 0.47mの円形。壁：底面から角度をもって立ち上がる。底面：ハードローム層を0.2m程度掘り込む。平坦。覆土：3層に分層。1,2層は柱痕跡、3層は版築層。遺物：なし。所見：土層観察から掘立柱建物掘方と判断した。

### 第4節 掘立柱建物跡

今回の調査では、2棟検出した。ピット中には、土層観察から掘立柱建物跡掘方に該当するものも含まれるが、規模・向きが特定できなかった。時期については、ほぼ奈良平安時代に属すると考える。

#### 01H (第25,26図・図版4)

位置：調査区東側隅。確認面：Ⅲ層中。主軸方位：N-8°-Eで東にやや振れている。重複関係：なし。規模：4間(6.9m) × 3間(4.5m)で、南面に庇を持つ。庇部分は調査区外に及ぶが、確認している柱間は2間(3.3m)以上である。柱間寸法は本体では、桁行1.725m等間、梁行1.5m等間である。庇部分では1.65m等間となる。掘方規模：0.44m ~ 0.5mの円形で、深さ0.5m ~ 0.7mを測る。掘方覆土：柱痕跡や柱固定層が部分的にみられるほか、柱を抜き取られた土層状態も確認された。底面：ほぼ平坦で、ハードローム層まで掘り込まれた状態であった。また柱当たりが各掘方で確認された。遺物：2点出土したが、当該期に該当するかは判然としない。所見：同一時期と想定される主軸方位を示しているのは、03D,04Dが該当し、時期は8世紀末葉~9世紀初頭である。

#### 02H (第26図・図版4)

位置：調査区東側隅。確認面：Ⅲ層中。主軸方位：N-40°-Eで東に振れている。重複関係：01Dを切る。規模：3間(5.5m)以上のみの検出である。柱間寸法は1.8m等間。掘方規模：0.42m ~ 0.6mの円形で、深さ0.2m ~ 0.5mを測る。掘方覆土：柱痕跡や柱固定層等については判然としなかった。底面：U字状の断面である。遺物：なし。所見：同一時期と想定される主軸方位を示した遺構はない。時期は01D以降の建造である。

#### 02P 遺物観察表 (第23図) 29<sup>分</sup>

|   | 器種       | 部位     | 計測値(cm) |    |    | 色調    | 胎土     | 調整・文様等                    |
|---|----------|--------|---------|----|----|-------|--------|---------------------------|
|   |          |        | 器高      | 口径 | 底径 |       |        |                           |
| 1 | 土師器<br>壺 | 口縁~腹部片 | -       | -  | -  | 内外赭褐色 | 赤母、白色粒 | ロクロ成形。口縁部内外側ナデ。腹部外側区へテ磨き。 |

#### 01H 遺物観察表 (第26図) 32<sup>分</sup>

|   | 器種       | 部位   | 計測値(cm) |    |    | 色調              | 胎土           | 調整・文様等                            |
|---|----------|------|---------|----|----|-----------------|--------------|-----------------------------------|
|   |          |      | 器高      | 口径 | 底径 |                 |              |                                   |
| 1 | 惣形器<br>環 | 底部片  | -       | -  | -  | 内外淡青灰色          | 灰石多含         | ロクロ成形。底部と各部の境不明瞭。                 |
| 2 | 土師器<br>壺 | 口縁部片 | -       | -  | -  | 内外赤赤<br>地文は淡黄褐色 | 粒子細かい<br>白色粒 | 有段口縁。棒状浮文4ヶ所。内面は腹区へテ磨き。外面は腹区へテ磨き。 |

#### 確認面遺物観察表 (第27図) 33<sup>分</sup>

|   | 器種       | 部位        | 計測値(cm) |    |     | 色調    | 胎土             | 調整・文様等                           |
|---|----------|-----------|---------|----|-----|-------|----------------|----------------------------------|
|   |          |           | 器高      | 口径 | 底径  |       |                |                                  |
| 1 | 惣形器<br>壺 | 腹部<br>底部片 | -       | -  | -   | 灰色    | 赤母多含<br>小石粒    | ロクロ成形。内面磨いかけり。                   |
| 2 | 土師器<br>壺 | 口縁~腹部片    | -       | -  | -   | 内外赭褐色 | 白色粒、赤母         | ロクロ成形。口縁部内外側ナデ。腹部内ナデ。            |
| 3 | 土師器<br>壺 | 口縁~腹部片    | -       | -  | -   | 内外淡褐色 | 赤母、白色粒、<br>赤色粒 | ロクロ成形。内外ロクロナデ。                   |
| 4 | 土師器<br>壺 | 底部1/2     | (1.2)   | -  | 6.0 | 内外褐色  | 赤色粒、白色粒、<br>赤母 | ロクロ成形。外部外ロクロナデ。底部部転垂切り磨し未調整。内ナデ。 |

## 第3章 まとめ

### 第1節 古墳時代

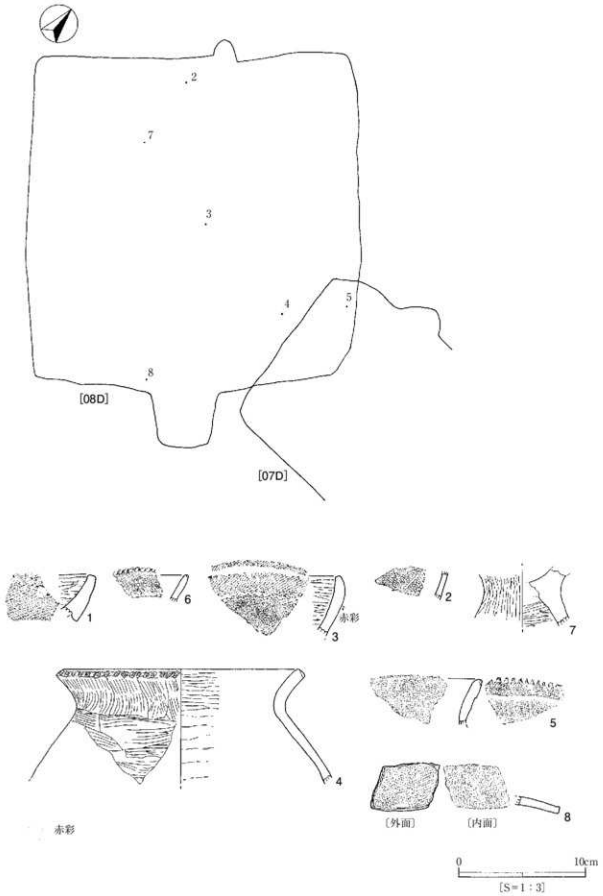
前期前葉の遺物集中地点1カ所と後期（6世紀後半～7世紀前半）の竪穴建物跡2棟を検出した。前期前葉の遺構・遺物は、本遺跡のこれまでの成果では、b地点本調査において竪穴建物跡1棟のみである。この時期後半に続く展開も見られず、集落としては小規模と想定される。後期については、隣接するd.g地点確認調査において竪穴建物跡が各1棟発見され、今回調査分を含めて4棟となる。南側隣接の浅間内遺跡では、中期末葉～後期初頭の竪穴建物跡が10棟検出されているが、本地点で検出された後期中葉に該当する遺構は見られないため、浅間内遺跡・殿内遺跡での継続した集落展開はないと想定される。

### 第2節 奈良・平安時代

竪穴建物跡は6棟検出され、04Dが8世紀第4四半期～9世紀第1四半期、07Dが9世紀第1四半期、03Dが9世紀第1～第2四半期、02D.05Dが9世紀第2四半期、09Dが9世紀第4四半期～10世紀初頭に位置付けられる。掘立柱建物跡は、2棟検出され、02Hは時期の特定はできなかった。01Hは03D.04Dと同軸上であり、9世紀第1四半期に位置付けられよう。結果として、本地点では、9世紀代を中心とした集住が判明した。

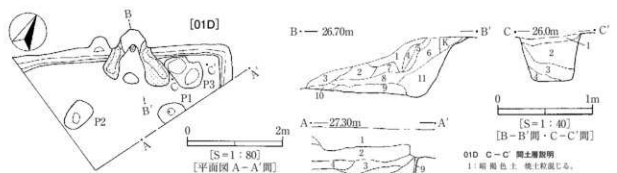
### 参考文献

- a 地点 2015 八千代市道跡調査会「千葉県八千代市 坡作道跡 殿内道跡 ―大型店舗建設工事区域内埋蔵文化財発掘調査報告書―」
- b 地点 2009 八千代市教育委員会「千葉県八千代市 殿内道跡 b 地点 ―公共事業関連道跡発掘調査報告書Ⅳ―」
- c 地点 2007 八千代市教育委員会「千葉県八千代市 市内道跡発掘調査報告書 平成18年度」
- d 地点 2016 八千代市教育委員会「千葉県八千代市 市内道跡発掘調査報告書 平成27年度」
- e 地点 2018 八千代市教育委員会「千葉県八千代市 殿内道跡 e 地点 ―宅地造成に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書―」
- f 地点 2018 八千代市教育委員会「千葉県八千代市 殿内道跡 f 地点 ―宅地造成に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書―」
- g 地点 2019 八千代市教育委員会「千葉県八千代市 市内道跡発掘調査報告書 平成30年度」
- h 地点 2021 八千代市教育委員会「千葉県八千代市 市内道跡発掘調査報告書 令和2年度」
- i 地点 2022 八千代市教育委員会「千葉県八千代市 市内道跡等発掘調査報告書 令和3年度」
- j 地点 2022 八千代市教育委員会「千葉県八千代市 市内道跡等発掘調査報告書 令和3年度」



第3図 01遺物集中地点遺構図・出土遺物

第4図 01D 遺構実測図・出土遺物(1)



01D A-A' 間土層説明

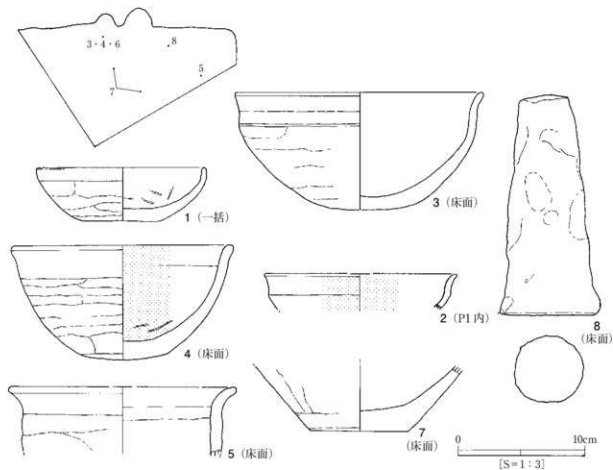
- 1: 埋土
- 2: 黒褐色土 地上段わずかに混じる。しまりあり。粘性あり。
- 3: 黒褐色土 地上段混じる。しまりあり。粘性あり。
- 4: 黒色土 少量の焼土粒と多量の炭化物粒。しまりあり。粘性なし。
- 5: 黒褐色土 焼土粒と炭化物粒。3～4cm程の焼土混じる。しまりあり。粘性あり。
- 6: 淡褐色土 焼土粒と炭化物粒の類。しまりあり。粘性あまりなし。
- 7: 暗褐色土 焼土混じる。炭化物粒混じる。しまりあり。粘性ややあり。
- 8: 暗褐色土 焼土混じり炭化物粒類。しまりやや弱い。粘性あまりなし。
- 9: ツブトロム層
- 10: 淡黄褐色土 焼土ブロック混じる。しまりやや弱い。粘性少しあり。
- 11: 淡褐色土 焼土ブロック混じる。炭化物混じる。しまりなし。粘性あまりなし。
- 12: 淡黄褐色土 焼土粒混じる。炭化物少し混じる。しまりなし。粘性あまりなし。
- 13: 褐色土 ロームブロック混じる。しまりかなり強い。
- 14: ハードローム層 しまり非常に強い。

01D B-B' 間土層説明

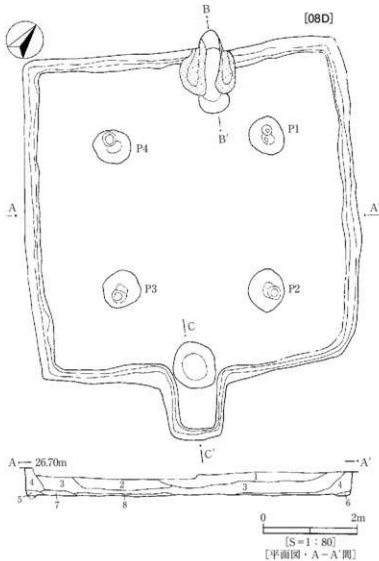
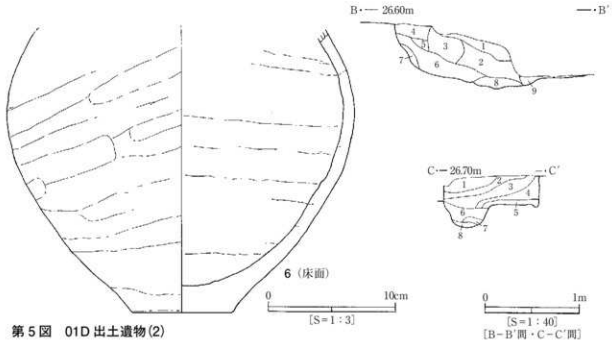
- 1: 黒褐色土 粒子細かい。
- 2: 淡褐色土 灰色砂・暗褐色土。
- 3: 暗褐色土 炭化粒、砂混じり。
- 4: 暗褐色土 灰色砂含む。
- 5: 淡褐色土 灰色砂。
- 6: 暗褐色土 砂混じり。
- 7: 暗褐色土 灰色砂混入。
- 8: 暗褐色土 2～3cm大ロームブロック混入。
- 9: 暗褐色土 焼土ブロック、炭化物混入。
- 10: 黒灰色土 炭、焼土粒混入。
- 11: 黒褐色土 炭化粒、焼土ブロック混入。

01D C-C' 間土層説明

- 1: 暗褐色土 焼土粒混じる。しまり非常に強い。
- 2: 黒褐色土 細かい焼土粒混じる。しまり強い。
- 3: 暗褐色土 焼土塊混じる。しまりあり。
- 4: 淡褐色土 ローム混じる。粘性、しまりあり。



第4図 01D 遺構実測図・出土遺物(1)



08D A-A' 掘土層説明

- 1: 暗褐色土 ローム黒色土混入、1-3m大ロームブロック混入。
- 2: 暗褐色土 ローム黒色土混入、黒色土やや多い、1m大ロームブロック混入。
- 3: 暗褐色土 ローム粒少量混入、1m大ロームブロック混入。
- 4: 暗褐色土 ロームに黒色土混入。
- 5: 暗褐色土 ロームに黒色土混入、ロームブロック混入。
- 6: 暗褐色土 1m大ロームブロック混入。
- 7: 暗褐色土 ロームに焼土粒混入。
- 8: 暗褐色土 ローム土主に黒色土粒点状に含む。

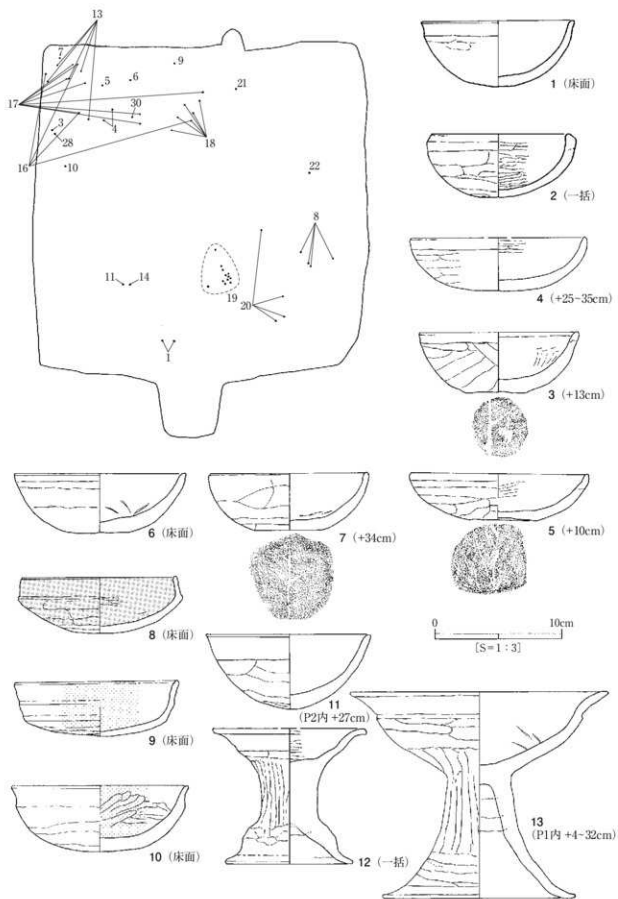
08D B-B' 掘土層説明

- 1: 暗褐色土 灰化砂少量含む。
- 2: 暗褐色土 灰化砂、焼土ブロックローム粒混入。
- 3: 茶灰色 灰化砂、灰土層。
- 4: 暗褐色土 炭化砂、焼土ブロック混入。
- 5: 茶灰色 炭化砂混入。
- 6: 褐色土 焼土ブロック、赤色砂、ローム混入。
- 7: 褐色土 ローム土。
- 8: 赤褐色土 灰土層、焼土ブロック、ロームブロック。
- 9: 暗褐色土 黒色土、赤色砂少量混入。

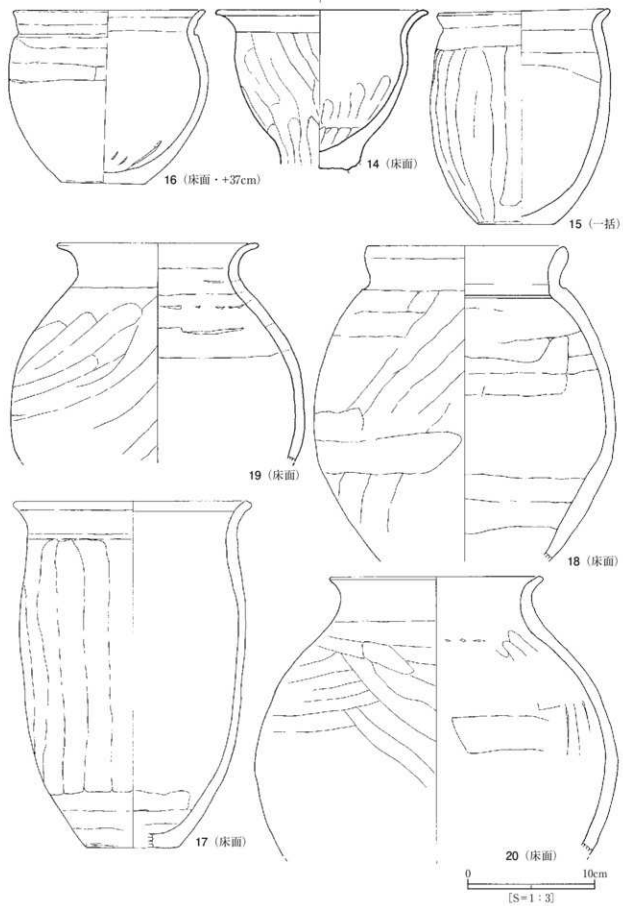
08D C-C' 掘土層説明

- 1: 暗褐色土 1-2m大ローム粒混入。
- 2: 暗褐色土 1層類似、黒色土多い。
- 3: 暗褐色土 1層類似、2より黒色土少ない、ややしめる。
- 4: 暗褐色土 1m大ローム粒含む、しめる。
- 5: 暗褐色土 ローム、ロームブロック混入、しめる。
- 6: 暗褐色土 黒色土、2-3m大ローム粒混入。
- 7: 暗褐色土 ローム粒混入。
- 8: 褐色土 ローム、ロームブロック黒色土混入。

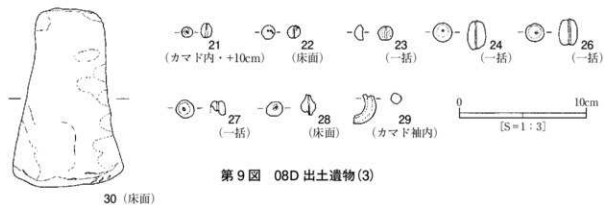
第7図 08D 出土遺物(1)



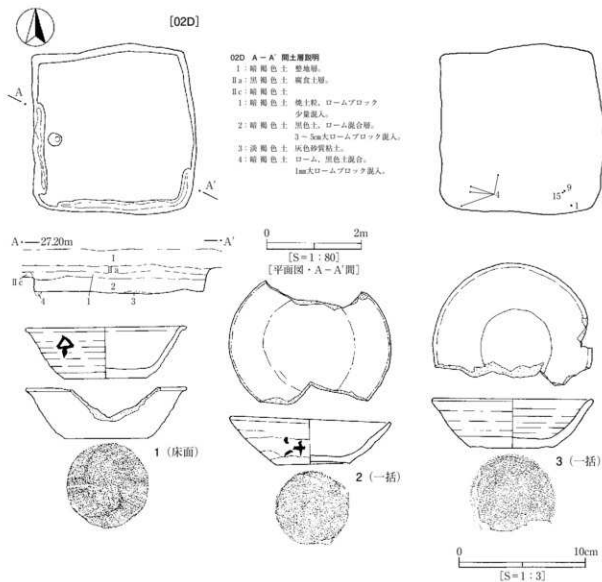
第7図 08D 出土遺物(1)



第8図 08D 出土遺物(2)

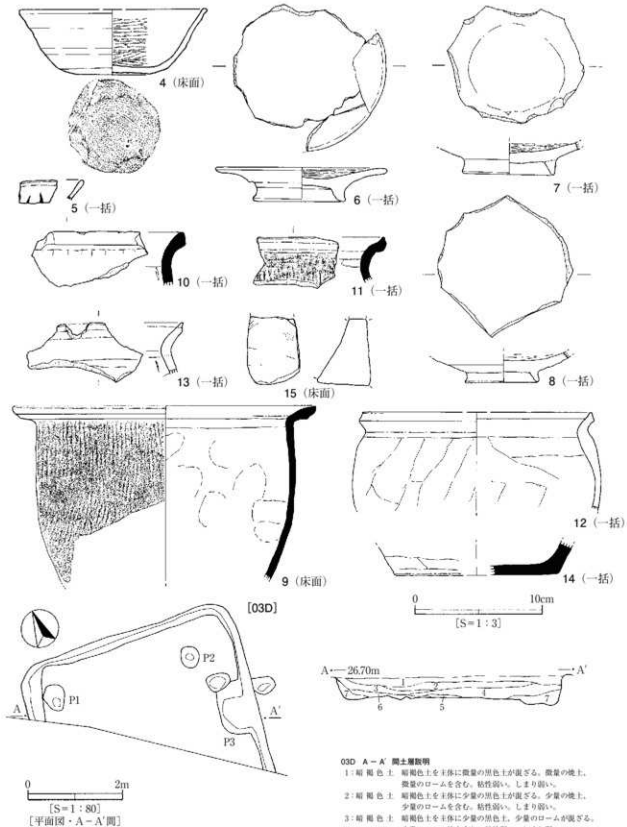


第9図 08D 出土遺物(3)



第10図 02D 遺構実測図・出土遺物(1)



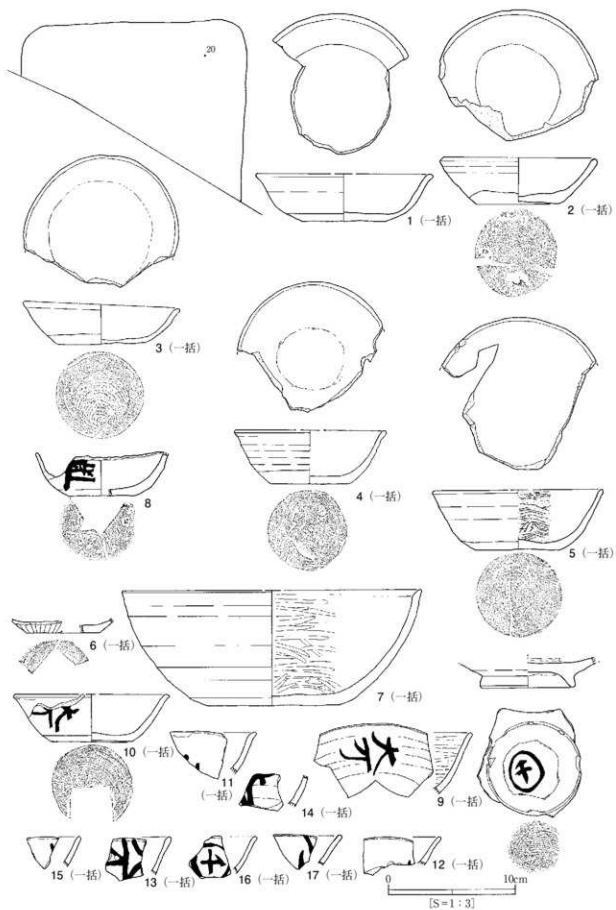


03D A-A' 開土層説明

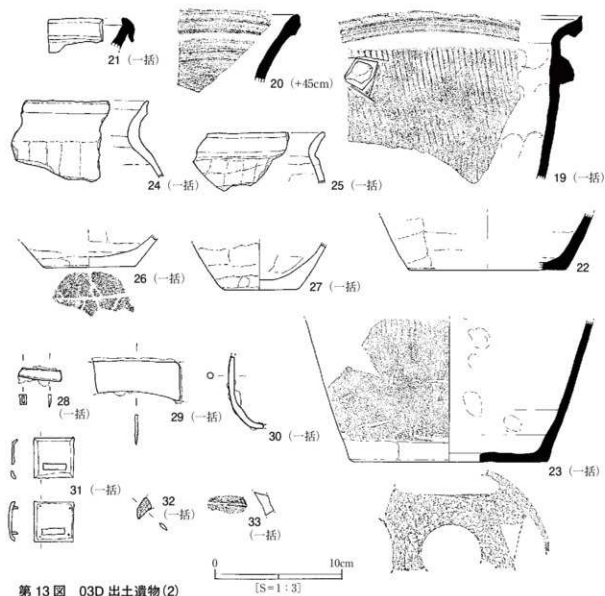
- 1: 暗褐色土 暗褐色土を主体に微量の黒色土が混ざる。微量の地上、微量のロームを含む。粘性弱い。しまり弱い。
- 2: 暗褐色土 暗褐色土を主体に少量の黒色土が混ざる。少量の地上、少量のロームを含む。粘性弱い。しまり弱い。
- 3: 暗褐色土 暗褐色土を主体に少量の黒色土、少量のロームが混ざる。少量のローム粒を含む。粘性弱い。しまり弱い。
- 4: 暗褐色土 暗褐色土を主体に少量の黒色土、少量のロームが混ざる。少量のローム粒を含む。粘性弱い。しまり弱い。
- 5: 黒褐色土 黒色土を主体に少量の暗褐色土が混ざる。粘性弱い。しまり弱い。
- 6: 暗褐色土 暗褐色土を主体に少量のロームが混ざる。粘性弱い。しまり弱い。
- 7: 暗褐色土 暗褐色土を主体としながらも多量のロームが混ざる。粘性弱い。しまりややあり。

第11図 02D 出土遺物(2)・03D 遺構実測図

第12圖 03D出土遺物(1)

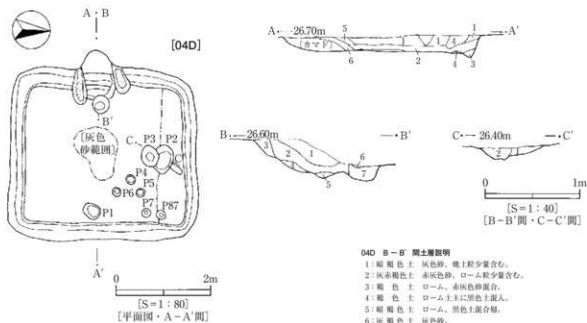


第12圖 03D出土遺物(1)



第13圖 03D出土遺物(2)

第14図 04D 遺構実測図・出土遺物(1)



04D A-A' 間土層説明

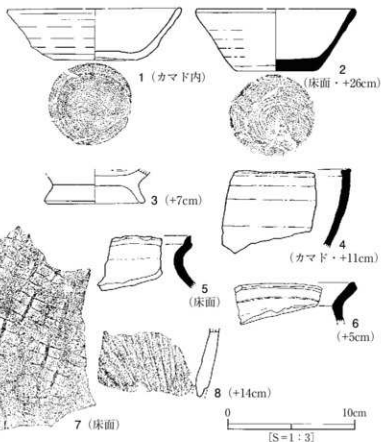
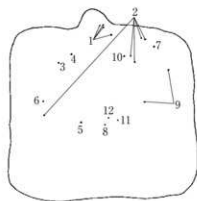
- 1: 暗褐色土 ローム、灰色土混入層、焼土粒少量混入。粒子細かい。炭屑含む。
- 2: 暗褐色土 1層類似。黑色土やや多い。
- 3: 暗褐色土 1m大ローム粒混入。粒子細かい。
- 4: 淡灰褐色土 灰色砂主体。しまる。目硬化面。
- 5: 暗褐色土 1層類似。灰色砂少量含む。
- 6: 暗褐色土 ローム主に灰色砂含む。

04D B-B' 間土層説明

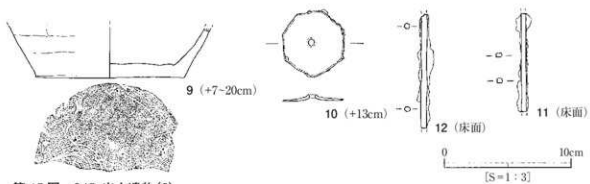
- 1: 暗褐色土 灰色砂、焼土粒少量含む。
- 2: 灰赤褐色土 赤灰色砂、ローム粒少量含む。
- 3: 暗褐色土 ローム、赤灰色砂混入。
- 4: 暗褐色土 ローム主に灰色土混入。
- 5: 暗褐色土 ローム、灰色土混入層。
- 6: 灰褐色土 灰色砂。
- 7: 暗褐色土 ローム、灰色土混入層。2m大ローム粒含む。

04D C-C' 間土層説明

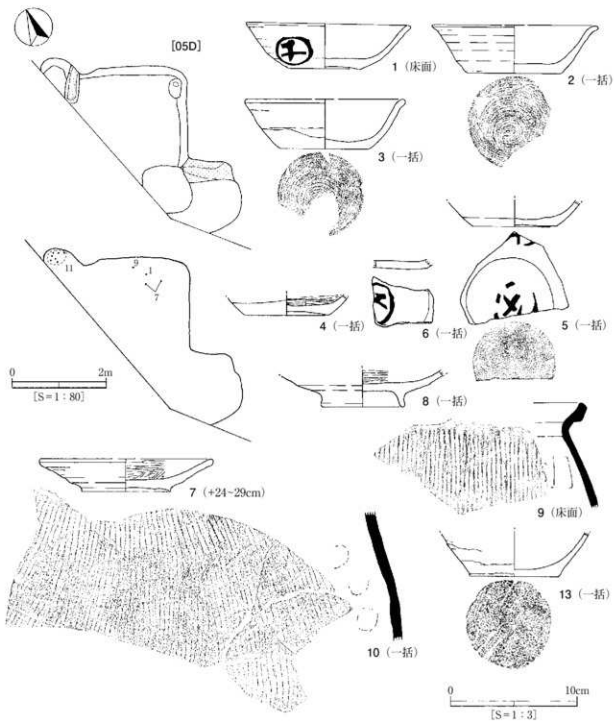
- 1: 赤褐色土 焼土粒主体。
- 2: 暗褐色土 灰色土、ロームに焼土粒少量混入。



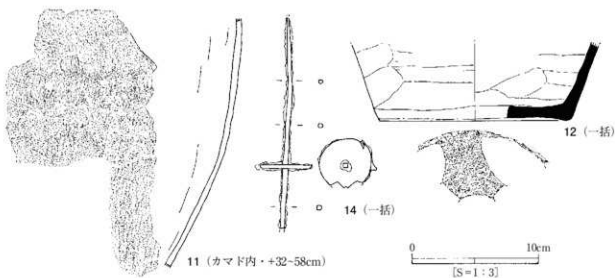
第14図 04D 遺構実測図・出土遺物(1)



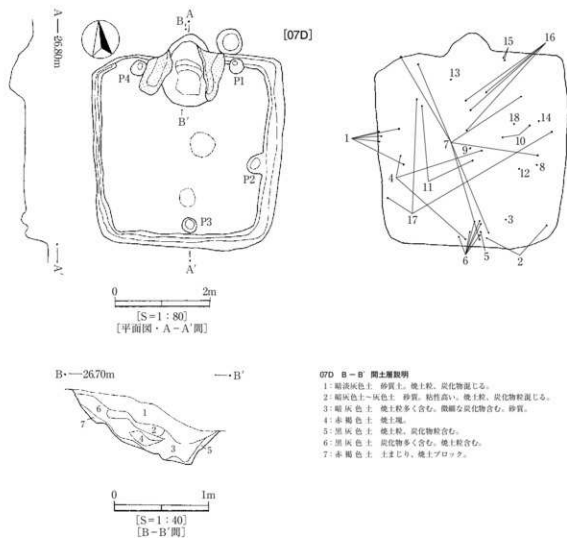
第15図 04D 出土遺物(2)



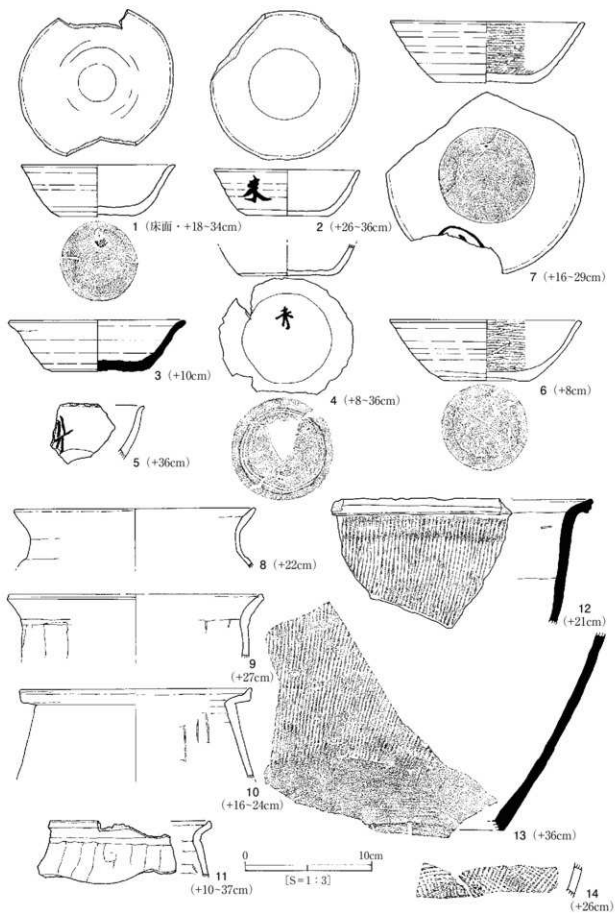
第16図 05D 遺構実測図・出土遺物(1)



第17図 05D出土遺物(2)

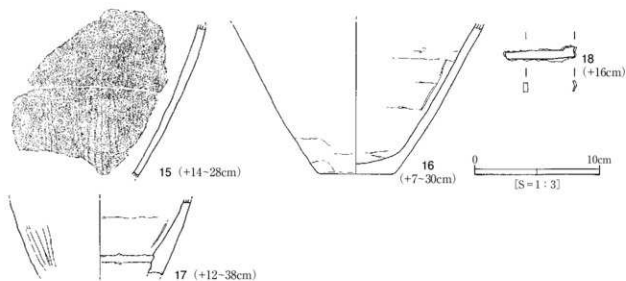


第18図 07D遺構実測図

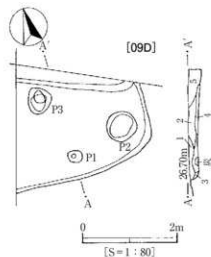


第19図 07D 出土遺物(1)

第20図 07D出土遺物(2) 第21図 09D遺構実測図・出土遺物(1)

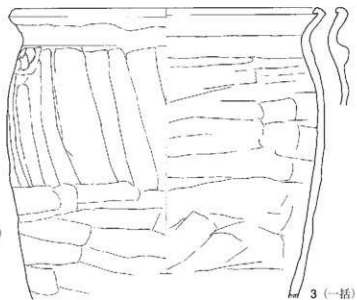
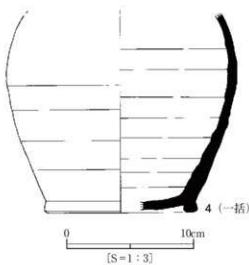


第20図 07D出土遺物(2)



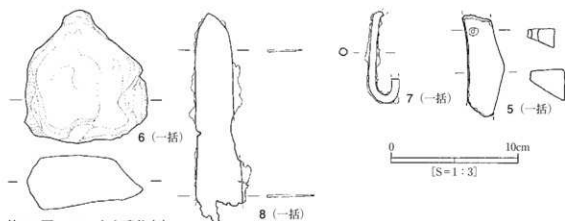
09D A-A' 周土層説明

- 1: 暗褐色土 暗褐色土を主体に少量の黒色土が混ざる。粘性弱い。しまり弱い。
- 2: 暗褐色土 暗褐色土を主体に微量の黒色土と微量のロームが混ざる。粘性弱い。しまり弱い。
- 3: 暗赤褐色土 暗褐色土とロームが混ざる。粘性弱い。しまり弱い。
- 4: 暗褐色土 暗褐色土を主体に少量の黒色土と多量の炭化材が混ざる。粘性弱い。しまり弱い。
- 5: 暗褐色土 暗褐色土を主体に少量の黒色土、少量のロームが混ざる。粘性ややあり。しまり弱い。

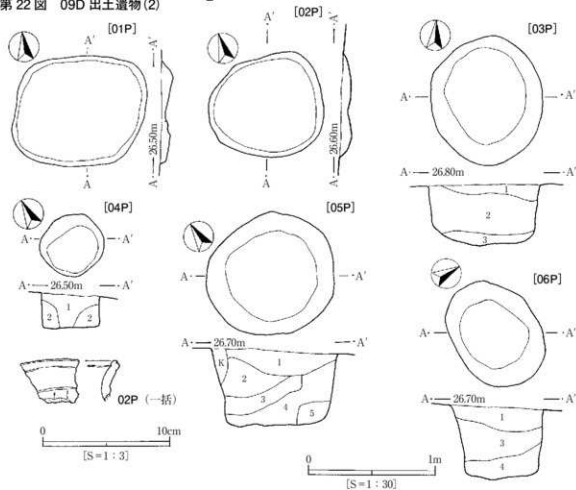


第21図 09D遺構実測図・出土遺物(1)





第22図 09D出土遺物(2)



01P 土層説明

1: 黒褐色土 黒色土にロームブロック混入。

02P 土層説明

1: 黒褐色土 ローム粒、焼土粒混入、砂子細かい。

03P 土層説明

1: 黒褐色土 ローム粒少量含む、しまる。  
2: 暗褐色土 1-5cm大ロームブロック、黒色土、ローム粒混入。しまる。  
3: 褐色土 ローム粒、ロームブロックに少量黒色土含む、しまる。

04P 土層説明

1: 暗褐色土 ローム粒、黒色土混入。砂子細かい。  
2: 褐色土 ロームブロック、ローム粒、しまる。

05P 土層説明

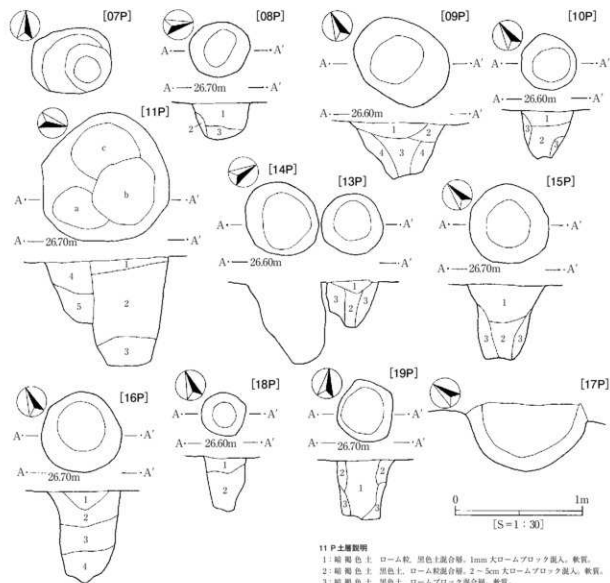
1: 暗褐色土 黒色土、ローム粒混入。ロームブロック点在、しまる。  
2: 暗褐色土 ローム粒に黒色土混入、しまる。  
3: 褐色土 ロームブロック、黒色土、しまる。  
4: 暗褐色土 黒色土にロームブロック混入、しまる。  
5: 褐色土 ロームブロック中に黒色土少量混入。

06P 土層説明

1: 暗褐色土 ローム粒、黒色土混入。ロームブロック少量含む、しまる。  
2: 暗褐色土 1層暗紅、黒色土やや多い、しまる。  
3: 暗褐色土 1層暗紅、黒色土やや多い、しまる。  
4: 暗褐色土 ロームブロック、ローム粒、黒色土混入。しまる。

第23図 ビット遺構実測図(1)・02P出土遺物

第24図 ビット遺構実測図(2)



06 P 土層説明

- 1: 暗褐色土 黒色土、ローム粒混入層、粒子細かい。
- 2: 褐色土 ローム粒、ロームブロック混入層、しまる。
- 3: 暗褐色土 黒色土、ローム粒混入層、しまる。

09 P 土層説明

- 1: 暗褐色土 ローム粒、黒色土混入層、粒子細かい。
- 2: 暗褐色土 1層類似、黒色土少ない。
- 3: 暗褐色土 ローム粒、黒色土混入層、粒子細かい、1層類似、ローム粒やや多い。
- 4: 暗褐色土 ロームブロック、ローム粒、黒色土混入層、しまる。

10 P 土層説明

- 1: 暗褐色土 ローム粒、黒色土混入層、粒子細かい。
- 2: 暗褐色土 ローム粒、黒色土混入層、1層類似、5mm大ロームブロック混入、粒子細かい。
- 3: 褐色土 ローム粒、黒色土混入層。

11 P 土層説明

- 1: 暗褐色土 ローム粒、黒色土混入層、1mm大ロームブロック混入、軟質。
- 2: 暗褐色土 黒色土、ローム粒混入層、2~5cm大ロームブロック混入、軟質。
- 3: 暗褐色土 黒色土、ロームブロック混入層、軟質。
- 4: 暗褐色土 ローム粒、黒色土混入層、部分的にロームブロック混入、しまる。
- 5: 暗褐色土 1層類似、黒色土の割合やや多い、しまる。

13 P 土層説明

- 1: 暗褐色土 ローム粒、黒色土混入層、粒子細かい。
- 2: 暗褐色土 ローム粒、黒色土混入層、1層類似、5mm大ロームブロック混入、粒子細かい。
- 3: 褐色土 ローム粒、黒色土混入層。

15P 土層説明

- 1: 暗褐色土 黒色土、ローム粒混入層、1~2cm大ロームブロック混入。
- 2: 暗褐色土 ローム粒少量含む、やや軟質。
- 3: 暗褐色土 ロームブロック、ローム粒、黒色土混入層、しまる。

16P 土層説明

- 1: 暗褐色土 黒色土、ローム粒混入層、1~2cm大ロームブロック混入。
- 2: 暗褐色土 黒色土、ローム粒混入層に1~3cm大ロームブロック混入、やや軟質。
- 3: 暗褐色土 ローム土に黒色土粒混入、部分的にロームブロック混入、しまる。
- 4: 暗褐色土 3層類似、黒色土がやや多い、しまる。

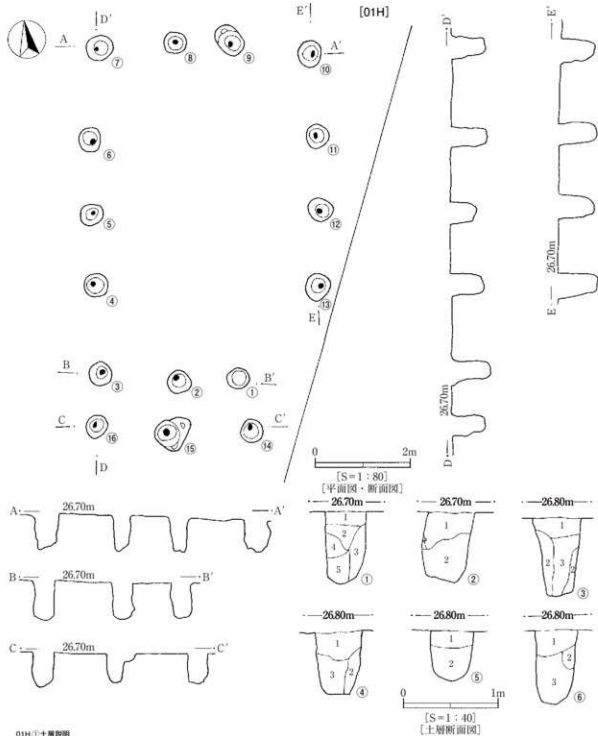
18P 土層説明

- 1: 暗褐色土 純土粒、1cm大ロームブロック混入。
- 2: 暗褐色土 ローム粒、黒色土混入層、粒子細かい。

19P 土層説明

- 1: 暗褐色土 ローム粒、1cm大ロームブロック混入、粒子細かい。
- 2: 暗褐色土 ローム粒、黒色土混入層、粒子細かい。
- 3: 褐色土 ロームブロック、ローム土。

第24図 ビット遺構実測図(2)



01H①土層説明

- 1: 黒褐色土 ローム, 黒色土混入層, 粒子細かい。
- 2: 暗褐色土 ロームブロック混入, しまる。
- 3: 褐色土 ローム土に1cm大ロームブロック混入, しまる。
- 4: 褐色土 ローム, 黒色土混入, しまる。
- 5: 黒褐色土 ローム粒混入, しまる。

01H②土層説明

- 1: 黒褐色土 ローム, 黒色土混入層, 粒子細かい。
- 2: 黒褐色土 ロームブロック+黒色土, しまる。

01H③土層説明

- 1: 黒褐色土 ローム黒色土混入, 粒子細かい。
- 2: 褐色土 ローム土主体, しまる。
- 3: 黒褐色土 黒色土にローム少量混入, やや軟質。

01H④土層説明

- 1: 黒褐色土 ローム黒色土混入, 粒子細かい。
- 2: 褐色土 ロームに黒土混入, ややしまる。
- 3: 黒褐色土 ローム黒色土混入, 2cm大ロームブロック混入, しまる。

01H⑤土層説明

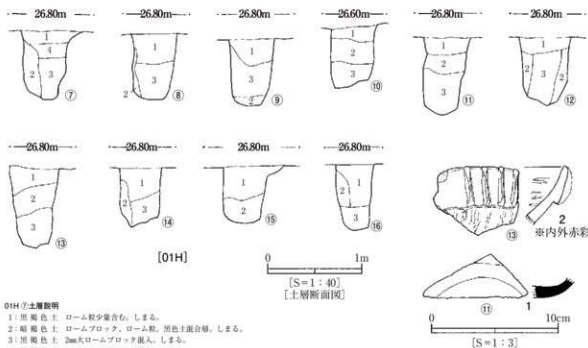
- 1: 黒褐色土 ローム粒少量含む, しまっている。
- 2: 黒褐色土 1よりローム粒多い, 1~2cm大ロームブロック混入, しまる。

01H⑥土層説明

- 1: 黒褐色土 ローム粒少量含む, しまる。
- 3: 黒褐色土 1よりローム粒多い, 1cm大ローム粒含む, しまる。
- 2: 褐色土 ロームブロックに黒色土混入, ややほそ。

第25図 01H遺構実測図(1)

第26図 01H 遺構実測図(2)・出土遺物・02H 遺構実測図



01H 土層説明

- 1: 黒褐色土 ローム粒少量含む。しまる。
- 2: 暗褐色土 ロームブロック、ローム粒、黒色土混合格。しまる。
- 3: 黒褐色土 2m大ロームブロック混入。しまる。
- 4: 黒褐色土 2m大ロームブロック混入。しまる。

01H 土層説明

- 1: 黒褐色土 ローム粒1m大ロームブロック混入。粒子細かい。
- 2: 暗褐色土 ロームブロック、黒色土混合格。しまる。
- 3: 黒褐色土 ローム粒少量含む。しまる。

01H 土層説明

- 1: 黒褐色土 ローム粒1m大ロームブロック混入。粒子細かい。
- 2: 暗褐色土 ローム粒少量含む。しまる。
- 3: 暗褐色土 ロームブロック、黒色土混合格。しまる。

01H 土層説明

- 1: 黒褐色土 ローム、黒色土混合格。粒子細かい。
- 2: 暗褐色土 ロームブロック、黒色土混合格。しまる。
- 3: 黒褐色土 ローム粒混入。しまる。

01H 土層説明

- 1: 黒褐色土 1m大ロームブロック混入。粒子細かい。
- 2: 黒褐色土 ローム粒、黒色土混合格。ややしまる。
- 3: 黒褐色土 ローム粒。2より少ない。

01H 出土物説明

- 1: 黒褐色土 1m大ロームブロック混入。粒子細かい。
- 2: 暗褐色土 ローム粒に黒色土粒混入。しまる。
- 3: 暗褐色土 ローム粒に黒色土粒混入。やや軟質。粒子細かい。

01H 出土物説明

- 1: 黒褐色土 ローム、黒色土混合格。粒子細かい。
- 2: 暗褐色土 ローム、黒色土混合格。ローム多い。1~2m大ロームブロック混入。しまる。
- 3: 黒褐色土 ローム、黒色土混合格。しまる。

01H 出土物説明

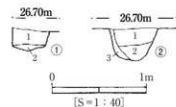
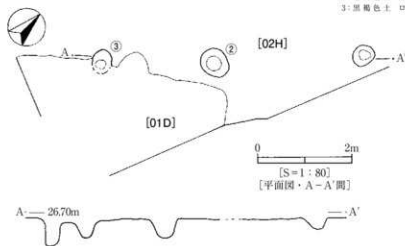
- 1: 黒褐色土 ローム粒1m大ロームブロック混入。粒子細かい。
- 2: 暗褐色土 ロームブロック、黒色土混合格。しまる。
- 3: 黒褐色土 ローム粒少量含む。しまる。

01H 出土物説明

- 1: 黒褐色土 黒色土に少量ローム粒混入。粒子細かい。
- 2: 暗褐色土 ローム黒色土混合格。1~2m大ロームブロック混入。しまる。

01H 出土物説明

- 1: 黒褐色土 黒色土に少量ローム粒混入。粒子細かい。
- 2: 暗褐色土 黒色土ローム混合格。1m大ロームブロック混入。しまる。
- 3: 黒褐色土 ローム粒少量含む。ややぼそぼそ。



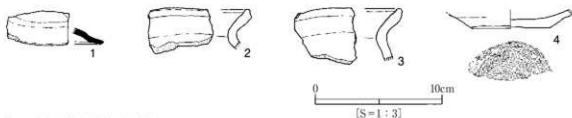
02H 土層説明

- 1: 暗褐色土 ローム黒色土混合格。粒子細かい。
- 2: 暗褐色土 ローム土に黒色土混入。

02H 土層説明

- 1: 暗褐色土 ローム黒色土混合格。粒子細かい。
- 2: 暗褐色土 ローム黒色土混合格。1~2m大ロームブロック混入。しまる。
- 3: 暗褐色土 ローム土主体。ややしまる。

第26図 01H 遺構実測図(2)・出土遺物・02H 遺構実測図



第27図 確認面出土遺物

## 報告書抄録

|               |   |       |      |                   |                    |                           |       |      |
|---------------|---|-------|------|-------------------|--------------------|---------------------------|-------|------|
| ふりがな          | ちばげんやちよしこうきょうじぎょうかんれんいせきはつくつちょうさほうこくしよきゅう       |       |      |                   |                    |                           |       |      |
| 書名            | 千葉県八千代市公共事業関連道路発掘調査報告書Ⅷ                         |       |      |                   |                    |                           |       |      |
| 副書名           | 殿内遺跡j地点   |       |      |                   |                    |                           |       |      |
| 編著者名          | 森 竜哉  |       |      |                   |                    |                           |       |      |
| 編集機関          | 八千代市教育委員会                                       |       |      |                   |                    |                           |       |      |
| 所在地           | 〒276-0045 千葉県八千代市大和田138番地2 TEL.047-(483)1151 代表 |       |      |                   |                    |                           |       |      |
| 発行年月日         | 令和5年3月30日                                       |       |      |                   |                    |                           |       |      |
| ふりがな<br>所収遺跡名 | ふりがな<br>所在地                                     | コード   |      | 北 緯               | 東 経                | 調査期間                      | 調査面積㎡ | 調査原因 |
|               |   | 市町村   | 遺跡番号 |                   |                    |                           |       |      |
| 殿内遺跡<br>j地点   | 千葉県八千代市<br>村上字殿ノ内<br>1580-1, 1580-3             | 12221 | 203  | 35度<br>72分<br>88秒 | 140度<br>11分<br>70秒 | 20210308<br>～<br>20210331 | 上層594 | 店舗建設 |

| 所収遺跡名       | 種 別   | 主な時代                    | 主な遺構   | 主な遺物  | 特記事項 |
|-------------|---|-------------------------|--|---|------|
| 殿内遺跡<br>j地点 | 集落跡   | 縄文時代<br>古墳時代・奈良<br>平安時代 | 古墳時代後期竪穴建物跡2棟<br>奈良平安時代竪穴建物跡6棟<br>同時代ピット17基<br>同時代掘立柱建物跡2棟 | 縄文時代石鏡<br>古墳時代土師器・土製品<br>奈良平安時代土師器・須恵器<br>鉄製品・紡錘車 |      |
| 要 約         | 調査において、古墳時代後期の竪穴建物跡2棟、奈良平安時代の竪穴建物跡6棟・ピット18基・掘立柱建物跡2棟が検出された。また古墳時代前期の土師器片が古墳時代後期竪穴建物跡覆土から出土していることから、同時代の竪穴建物跡が想定される。 |                         |  |   |      |

図版1 遺構 [表土剥ぎ・01D・02D・04D]



表土剥ぎ



01D カマドセクション



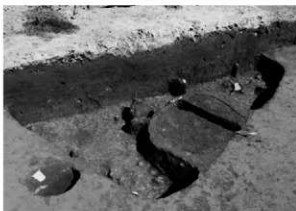
01D 遺物出土状況



01D 完掘



01D カマド全景



02D 遺物出土状況



02D 全景



04 D 遺物出土状況



04D カマドセクション



04D 床面精査状況 1



04D 床面精査状況 2



04D 床面精査状況 3



04D 鍛冶炉



04D カマド完掘



04D 完掘 1



04D 完掘 2

図版3 遺構 [05D・07D・08D・01P]



05D 遺物出土状況



07D カマド完掘



07D 完掘



08D 遺物出土状況



08D セクション



08D カマド完掘



08D 完掘



01P 全景



図版4 遺構 [02P・03P・05P・06P・09P～15P・01H・02H・調査区全景]



02P 全景



03P 完掘



05P 完掘



06P 完掘



09P～15P 完掘



01H・02H 完掘



調査区全景 1



調査区全景 2

図版 5 遺物 [01D・02D・03D・04D]

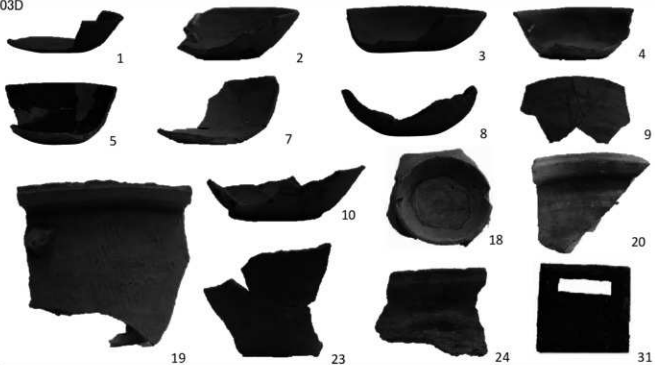
01D



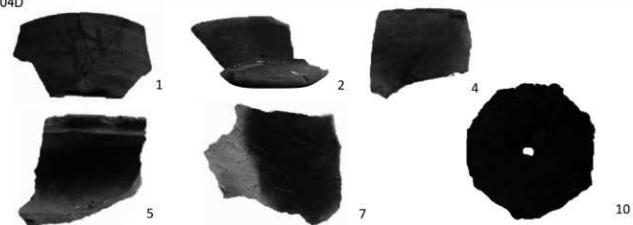
02D



03D



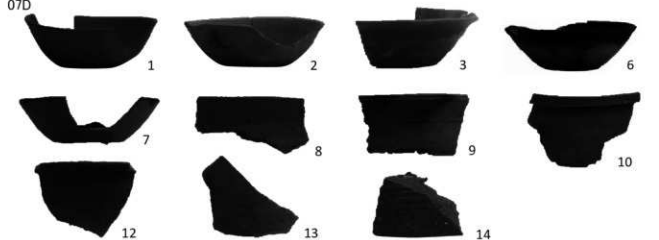
04D



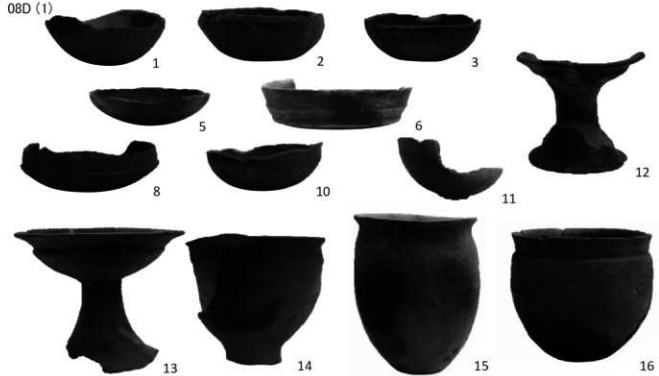
05D



07D



08D (1)

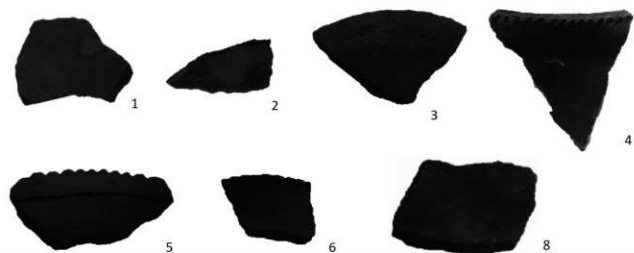


図版7 遺物 [08D(2)・01遺物集中地点・09D・01H・確認面]

08D(2)



01遺物集中地点



09D



01H



千葉県八千代市  
公共事業関連遺跡発掘調査報告書Ⅸ  
殿内遺跡 j 地点

---

発行日 令和5年3月30日  
編集 八千代市教育委員会 文化・スポーツ課  
〒276-0045 八千代市大和田138-2  
Tel. 047-483-1151 (代表)  
発行 八千代市教育委員会  
印刷 株式会社 山下印刷